

対象ユニット:

NZ2GF12A-60IOLH8

# 《目次》

リファレンスマニュアル改訂履歴 .....	2
1. 概要 .....	3
1. 1 FB ライブラリ概要 .....	3
1. 2 FB ライブラリ機能内容 .....	3
1. 3 システム構成例 .....	4
1. 4 CC-Link IE フィールドネットワークマスター・ローカルユニットの設定 .....	6
1. 5 NZ2GF12A-60IOLH8 の通信設定 .....	10
2. FB ライブラリ詳細 .....	11
2. 1 M+NZ2GF12A-60IOLH8_CCIEFIOAdv (アドバンス設定) .....	11
2. 2 M+NZ2GF12A-60IOLH8_RdEventData (イベントデータ読出し) .....	16
2. 3 M+NZ2GF12A-60IOLH8_RdIdtData (ゲートウェイ識別データ読出し) .....	20
2. 4 M+NZ2GF12A-60IOLH8_RdInitOprSet (イニシャル動作設定読出し) .....	24
2. 5 M+NZ2GF12A-60IOLH8_RdISDUData (ISDU データ読出し) .....	27
2. 6 M+NZ2GF12A-60IOLH8_RdStrData (ストレージデータ読出し) .....	31
2. 7 M+NZ2GF12A-60IOLH8_WtDataStrSet (データストレージ設定書込み) .....	35
2. 8 M+NZ2GF12A-60IOLH8_WtInitOprSet (イニシャル動作設定書込み) .....	39
2. 9 M+NZ2GF12A-60IOLH8_WtISDUData (ISDU データ書込み) .....	42
2. 10 M+NZ2GF12A-60IOLH8_WtDeviceValid (デバイス検証設定書込み) .....	46
付録 1. パラメータ設定方法 .....	50
付録 1.1. 入出力切替え指令 .....	50
付録 1.2. モード切替え指令 .....	51
付録 1.3. イベント削除設定 .....	52
付録 1.4. 上下バイトデータ交換設定 .....	53
付録 1.5. プロセスデータサイズ設定 .....	54
付録 1.6. データストレージ設定 .....	54
付録 1.7. デバイス検証設定 .....	58
付録 2. FB ライブラリ使用例 .....	59

リファレンスマニュアル改訂履歴

リファレンスマニュアル番号	改訂日	改訂内容
FBM-M213-A	2017/04/28	新規作成

## 1. 概要

### 1.1 FB ライブラリ概要

本 FB ライブラリは、CC-Link IE フィールドネットワークを利用して、防水タイプリモート IO-Link ユニット NZ2GF12A-60IOLH8 を使用するための FB ライブラリです。

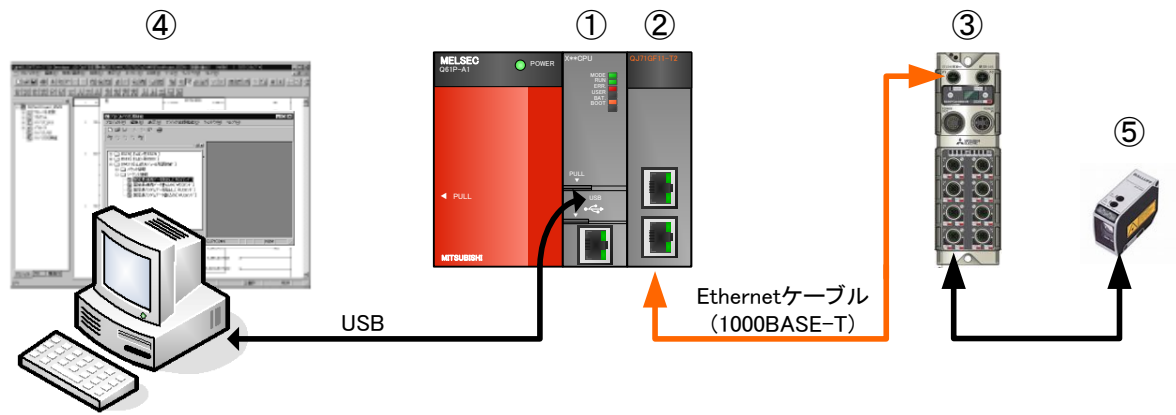
### 1.2 FB ライブラリ機能内容

項目	内容
M+NZ2GF12A-60IOLH8_CCIEFIOAdv	各 CH のプロセスデータサイズ及び動作の設定を行います。
M+NZ2GF12A-60IOLH8_RdEventData	指定 CH のイベントデータを読み出します。
M+NZ2GF12A-60IOLH8_RdIdtData	防水タイプリモート IO-Link ユニットのゲートウェイ識別データを読み出します。
M+NZ2GF12A-60IOLH8_RdInitOprSet	防水タイプリモート IO-Link ユニットのイニシャル動作設定を読み出します。
M+NZ2GF12A-60IOLH8_RdISDUData	指定 CH の ISDU データを読み出します。
M+NZ2GF12A-60IOLH8_RdStrData	指定 CH のストレージデータを読み出します。
M+NZ2GF12A-60IOLH8_WtDataStrSet	各 CH にデータストレージ設定を書き込みます。
M+NZ2GF12A-60IOLH8_WtInitOprSet	防水タイプリモート IO-Link ユニットにイニシャル動作設定を書き込みます。
M+NZ2GF12A-60IOLH8_WtISDUData	指定 CH に ISDU データを書き込みます。
M+NZ2GF12A-60IOLH8_WtDeviceValid	指定 CH のデバイス検証の設定を行います。

1. 3 システム構成例

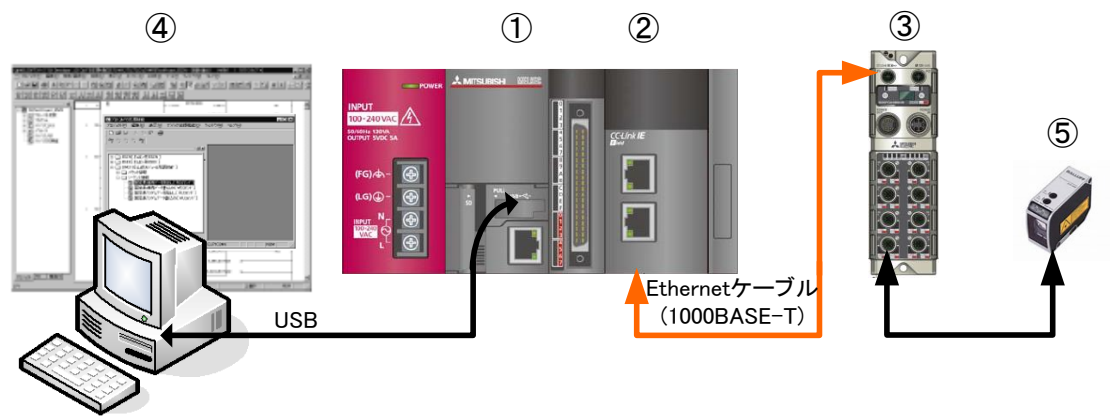
シーケンサと防水タイプリモート IO-Link ユニットの接続は、CC-Link IE フィールドネットワークマスタ・ローカルユニットを使用して、以下のように接続します。

(1)Q シリーズのシステム構成



No.	機器名	内容	
①	Q シリーズ シーケンサ CPU	以下のシーケンサ CPU ユニットで本 FB が使用可能です。	
		シリーズ	モデル
		MELSEC-Q シリーズ※1	ベーシックモデル QCPU※2
			ハイパフォーマンスモデル QCPU※3
			ユニバーサルモデル QCPU
※1 QCPU-A(A モード)使用不可			
※2 シリアル No.の上 5 桁が”04122”以降			
※3 シリアル No.の上 5 桁が”04012”以降			
②	CC-Link IE フィールドネットワーク マスタ・ローカルユニット	以下のユニットが使用可能です。	
		シリーズ	モデル
		MELSEC-Q シリーズ	QJ71GF11-T2
③	防水タイプリモート IO-Link ユニット	NZ2GF12A-60IOLH8	
④	GX Works2	Ver 1.09K 以降を使用します。	
⑤	IO-Link デバイス	-	

(2)L シリーズのシステム構成



No.	機器名	内容	
①	L シリーズ シーケンサ CPU	以下のシーケンサ CPU ユニットで本 FB が使用可能です。	
		シリーズ	モデル
		MELSEC-L シリーズ	-
②	CC-Link IE フィールドネットワーク マスタ・ローカルユニット	以下の CC-Link IE フィールドネットワークインタフェースを使用します。	
		シリーズ	モデル
		MELSEC-L シリーズ	LJ71GF11-T2
③	防水タイプリモート IO-Link ユニット	NZ2GF12A-60IOLH8	
④	GX Works2	Ver 1.09K 以降を使用します。	
⑤	IO-Link デバイス	-	

1. 4 CC-Link IE フィールドネットワークマスタ・ローカルユニットの設定

項「1. 3 システム構成例」に基づく CC-Link IE フィールドネットワークマスタ・ローカルユニットの設定を説明します。  
GX Works2 を用いて、以下の項目を設定します。

(1)ネットワークパラメータ

項目	内容
ネットワーク種別	「CC IE Field(マスタ局)」を選択します。
先頭 I/O No.	マスタ・ローカルユニットの先頭入出力番号を、16 点単位で設定します。 例として、「0000」を指定します。
ネットワーク No.	マスタ・ローカルユニットのネットワーク番号を設定します。 例として、「1」を指定します。

「ネットワーク構成設定を CC IE Field 構成ウィンドウで  
設定する」をチェックしてください。

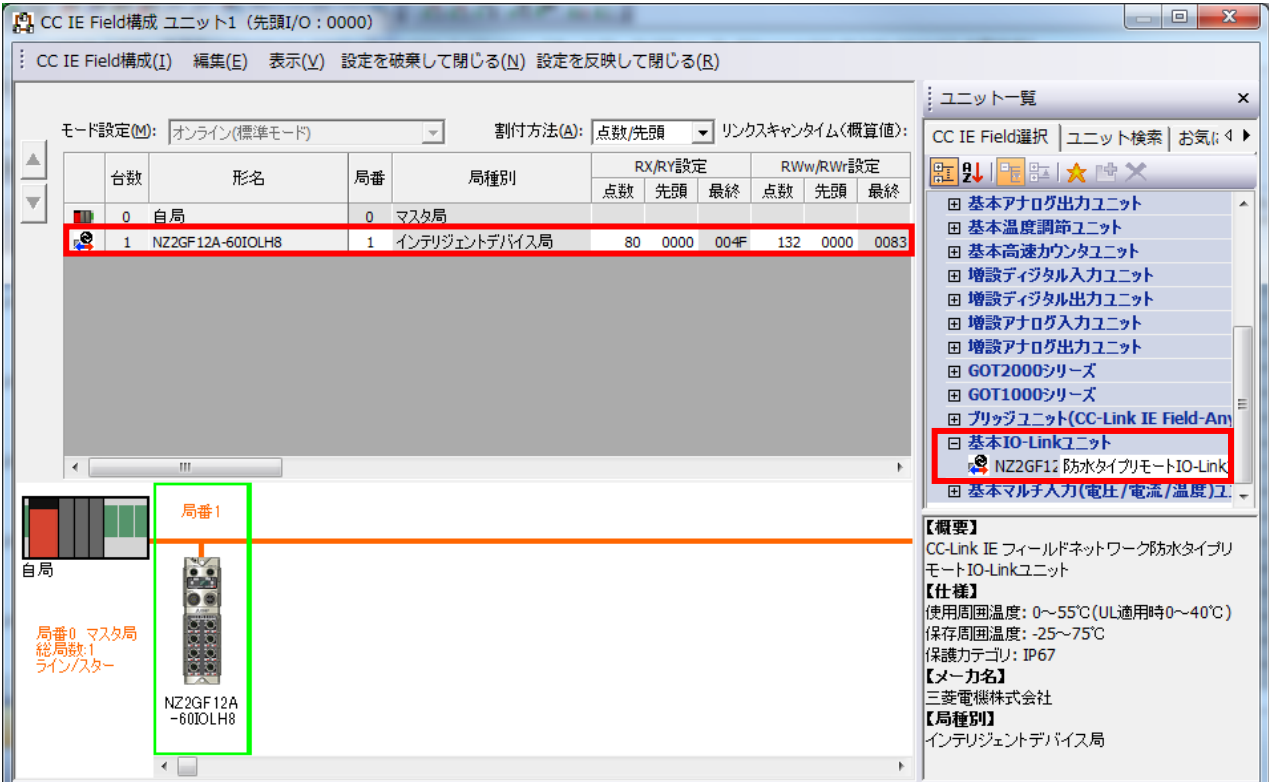
☒ ネットワーク構成設定を CC IE Field 構成ウィンドウで設定する

	ユニット1
ネットワーク種別	CC IE Field(マスタ局)
先頭I/O No.	0000
ネットワークNo.	1
総(子)局数	1
グループNo.	
局番	0
モード	オンライン(標準モード)
	CC IE Field構成設定
	ネットワーク動作設定
	リフレッシュパラメータ
	割込み設定
	局番をパラメータで設定

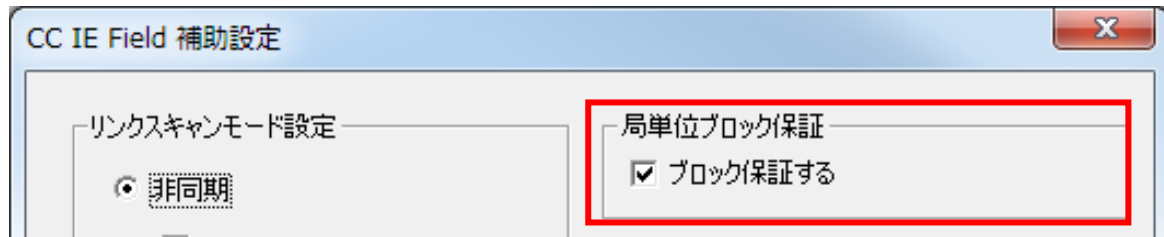
(2)CC IE Field 構成設定

ユニット一覧ウィンドウから「IO-Link ユニット」の「NZ2GF12A-60IOLH8」を自局の下にドラッグ&ドロップします。

項目	内容								
局番	防水タイプリモート IO-Link ユニットの局番を設定します。 例として、「1」を指定します。								
RX/RY 設定	RX/RY は、入出力信号で使用するため、下記の点数以上の設定をします。 <table><tr><th>RX/RY の内容</th><th>設定する点数</th></tr><tr><td>入力/出力点数</td><td>80 点</td></tr></table> 例として、「80 点」を指定します。	RX/RY の内容	設定する点数	入力/出力点数	80 点				
RX/RY の内容	設定する点数								
入力/出力点数	80 点								
RWw/RWr 設定	使用する機能に応じて、設定します。 <table><tr><th>RWw/RWr の内容</th><th>設定する点数</th></tr><tr><td>IO-Link ユニット(本体)</td><td>4 ワード</td></tr><tr><td>プロセスデータ用</td><td>0～128 ワード</td></tr><tr><td>合計</td><td>4～132 ワード</td></tr></table> 接続する IO-Link デバイスによって設定する点数が異なります。 IO-Link デバイスを使用せずに SIO としてのみ使用する場合は、プロセスデータ用の点数は 0 ワードとなります。 例として、「132 点」を指定します。	RWw/RWr の内容	設定する点数	IO-Link ユニット(本体)	4 ワード	プロセスデータ用	0～128 ワード	合計	4～132 ワード
RWw/RWr の内容	設定する点数								
IO-Link ユニット(本体)	4 ワード								
プロセスデータ用	0～128 ワード								
合計	4～132 ワード								



また、「CC IE Field 構成(I)」にある「補助設定」から、「局単位ブロック保証」のチェックボックスを有効に設定します。





(3)リフレッシュパラメータ設定の例

項目	内容	設定値
SB 転送	SB デバイスのリンクリフレッシュ範囲を設定します。	・「リンク側 点数」 : 512 ・「リンク側 先頭」 : 0000 ・「CPU 側 デバイス名」 : SB ・「CPU 側 先頭」 : 0000
SW 転送	SW デバイスのリンクリフレッシュ範囲を設定します。	・「リンク側 点数」 : 512 ・「リンク側 先頭」 : 0000 ・「CPU 側 デバイス名」 : SW ・「CPU 側 先頭」 : 0000
転送 1	RX デバイスのリンクリフレッシュ範囲を設定します。	・「リンク側 点数」 : 80 ・「リンク側 先頭」 : 0000 ・「CPU 側 デバイス名」 : X ・「CPU 側 先頭」 : 0100
転送 2	RY デバイスのリンクリフレッシュ範囲を設定します。	・「リンク側 点数」 : 80 ・「リンク側 先頭」 : 0000 ・「CPU 側 デバイス名」 : Y ・「CPU 側 先頭」 : 0100
転送 3	RW <sub>r</sub> デバイスのリンクリフレッシュ範囲を設定します。	・「リンク側 点数」 : 132 ・「リンク側 先頭」 : 0000 ・「CPU 側 デバイス名」 : W ・「CPU 側 先頭」 : 000100
転送 4	RW <sub>w</sub> デバイスのリンクリフレッシュ範囲を設定します。	・「リンク側 点数」 : 132 ・「リンク側 先頭」 : 0000 ・「CPU 側 デバイス名」 : W ・「CPU 側 先頭」 : 000500

割付方法

☒ 点数／先頭

☐ 先頭／最終

※リンク側の先頭アドレスは「0000」を設定してください。

	リンク側					CPU側			
	デバイス名	点数	先頭	最終		デバイス名	点数	先頭	最終
SB転送	SB	512	0000	01FF	↕	SB	512	0000	01FF
SW転送	SW	512	0000	01FF	↕	SW	512	0000	01FF
転送 1	RX	80	0000	004F	↕	X	80	0100	014F
転送 2	RY	80	0000	004F	↕	Y	80	0100	014F
転送 3	RW <sub>r</sub>	132	0000	0083	↕	W	132	000100	000183
転送 4	RW <sub>w</sub>	132	0000	0083	↕	W	132	000500	000583
転送 5					↕				
転送 6					↕				
転送 7					↕				
転送 8					↕				

防水タイプリモート IO-Link ユニット FB リファレンス(MELSEC-Q/L 対応)  
FBM-M213-A

## 1. 5 NZ2GF12A-60IOLH8 の通信設定

通信前に NZ2GF12A-60IOLH8 の局番及びネットワーク No.の設定を行う必要があります。  
NZ2GF12A-60IOLH8 の設定を以下のように指定してください。

項目	内容
STATION NUMBER	NZ2GF12A-60IOLH8 の局番を設定します。 ネットワーク構成設定で設定した局番と同じ局番を設定してください。 例として,「1」を指定します。
NETWORK NUMBER	NZ2GF12A-60IOLH8 のネットワーク番号を設定します。 ネットワークパラメータ設定で設定したネットワーク番号と同じネットワーク番号を設定してください。 例として,「1」を指定します。

設定方法の詳細については,「CC-Link IE フィールドネットワーク防水タイプリモート IO-Link ユニットユーザズマニュアル」を参照してください。

2. FB ライブラリ詳細

2. 1 M+NZ2GF12A-60IOLH8\_CCIEFIOAdv (アドバンス設定)

名称

M+NZ2GF12A-60IOLH8\_CCIEFIOAdv

機能内容

項目	内容																																					
機能概要	各 CH のプロセスデータサイズ及び動作の設定を行います。																																					
シンボル	<table><tr><td colspan="4">M+NZ2GF12A-60IOLH8_CCIEFIOAdv</td></tr><tr><td>実行指令</td><td>B : FB_EN</td><td>FB_ENO : B</td><td>実行状態</td></tr><tr><td>先頭I/ONo.</td><td>W : iw_StartIONo</td><td>FB_OK : B</td><td>正常完了</td></tr><tr><td>局番</td><td>W : iw_StationNo</td><td>FB_ERROR : B</td><td>異常完了</td></tr><tr><td>入出力切替え指令</td><td>W : iw_InOutSwitch</td><td>ERROR_ID : W</td><td>エラーコード</td></tr><tr><td>モード切替え指令</td><td>W : iw_ModeSwitch</td><td>ow_RYOutputs : W</td><td>リモート出力値</td></tr><tr><td>イベント削除設定</td><td>W : iw_EventsClear</td><td>ob_UnitError : B</td><td>エラー状態フラグ</td></tr><tr><td>上下バイトデータ交換設定</td><td>W : iw_DataSwap</td><td>ob_UnitReady : B</td><td>リモートREADY状態</td></tr><tr><td>プロセスデータサイズ設定</td><td>W : iw_ProcDataSize</td><td></td><td></td></tr></table>		M+NZ2GF12A-60IOLH8_CCIEFIOAdv				実行指令	B : FB_EN	FB_ENO : B	実行状態	先頭I/ONo.	W : iw_StartIONo	FB_OK : B	正常完了	局番	W : iw_StationNo	FB_ERROR : B	異常完了	入出力切替え指令	W : iw_InOutSwitch	ERROR_ID : W	エラーコード	モード切替え指令	W : iw_ModeSwitch	ow_RYOutputs : W	リモート出力値	イベント削除設定	W : iw_EventsClear	ob_UnitError : B	エラー状態フラグ	上下バイトデータ交換設定	W : iw_DataSwap	ob_UnitReady : B	リモートREADY状態	プロセスデータサイズ設定	W : iw_ProcDataSize		
M+NZ2GF12A-60IOLH8_CCIEFIOAdv																																						
実行指令	B : FB_EN	FB_ENO : B	実行状態																																			
先頭I/ONo.	W : iw_StartIONo	FB_OK : B	正常完了																																			
局番	W : iw_StationNo	FB_ERROR : B	異常完了																																			
入出力切替え指令	W : iw_InOutSwitch	ERROR_ID : W	エラーコード																																			
モード切替え指令	W : iw_ModeSwitch	ow_RYOutputs : W	リモート出力値																																			
イベント削除設定	W : iw_EventsClear	ob_UnitError : B	エラー状態フラグ																																			
上下バイトデータ交換設定	W : iw_DataSwap	ob_UnitReady : B	リモートREADY状態																																			
プロセスデータサイズ設定	W : iw_ProcDataSize																																					
対象機器	対象 CC-Link IE フィールドネットワークマスター・ローカルユニット	以下のユニットが使用可能です。																																				
		シリーズ	モデル																																			
		MELSEC-Q シリーズ	QJ71GF11-T2																																			
	MELSEC-L シリーズ	LJ71GF11-T2																																				
対象 CPU	対象 CPU	以下のシーケンサ CPU ユニットで本 FB が使用可能です。																																				
		シリーズ	モデル																																			
		MELSEC-Q シリーズ※1	ベーシックモデル QCPU※2																																			
			ハイパフォーマンスモデル QCPU※3																																			
			ユニバーサルモデル QCPU																																			
MELSEC-L シリーズ	-																																					
※1 QCPU-A(A モード)使用不可																																						
※2 シリアル No.の上 5 桁が”04122”以降																																						
※3 シリアル No.の上 5 桁が”04012”以降																																						
GX Works2	Ver 1.09K 以降																																					

項目	内容
記述言語	ラダー
ステップ数	723Step(MELSEC-Q シリーズ・ユニバーサルモデルの場合) ※ プログラムに組み込んだ FB のステップ数は、使用する CPU モデルや、入出力定義によって異なります。
機能説明	FB_EN(実行指令)の ON で、各 CH のプロセスデータサイズ及び動作の設定を行います。
FB コンパイル方式	マクロ型
制約事項, 注意事項等	<p>① 本 FB は、エラーから復帰する処理を含んでいません。エラーから復帰する処理については、お客様のシステムや要求動作に合わせて、別途作成してください。</p> <p>② 割込みプログラム内では、本 FB を使用しないでください。</p> <p>③ 1 回しか実行されないプログラム(例えば、サブルーチンプログラムや FOR～NEXT)で本 FB を使用すると、FB_EN(実行命令)の OFF 処理を実行することができず正常な動作ができなくなるため、FB_EN(実行命令)の OFF を実行できるプログラムで使用してください。</p> <p>④ 本 FB ではインデックスレジスタ Z6～Z9 を使用しているため、割込みプログラムを使用する場合は、割込みプログラム内で該当インデックスレジスタを使用しないでください。</p> <p>⑤ 本 FB では、全ての入カラベルにおいて回路の設定が必要です。</p> <p>⑥ 本 FB では出力されず、防水タイプリモート IO-Link ユニットのユニット状態エリアに格納されるユニットエラーコードがあります。</p> <p>⑦ 本 FB では、入出力切替え指令、モード切替え指令、イベント削除設定を防水タイプリモート IO-Link ユニットのリモート出力に書き込むフォーマットに変換し、出力します。出力した値を防水タイプリモート IO-Link ユニットのリモート出力に書き込むプログラムを別途作成してください。</p> <p>⑧ 本 FB では、FB 正常完了後にイニシャル処理完了フラグ又は動作条件設定要求フラグを ON する処理を含んでいません。イニシャル処理完了フラグ又は動作条件設定要求フラグを ON するプログラムを別途作成してください。</p> <p>⑨ イニシャル処理完了フラグ又は動作条件設定要求フラグは本 FB 実行完了後、500ms 経過後に ON してください。</p>
FB 動作	パルス実行型(複数スキャン実行型)

項目	内容
入出力信号の動き	<div> <div>【正常終了の場合】</div> <div> </div> </div> <div> <div>【異常終了の場合】</div> <div> </div> </div>
関連マニュアル	CC-Link IE フィールドネットワーク防水タイプリモート IO-Link ユニットユーザーズマニュアル

エラーコード

■エラーコード一覧

エラーコードについては「CC-Link IE フィールドネットワーク防水タイプリモート IO-Link ユニットユーザーズマニュアル」を参照してください。

使用ラベル

■入カラベル

名称	ラベル名	データ型	有効範囲	説明
実行命令	FB_EN	ビット	ON, OFF	ON:FB を起動する OFF:FB を起動しない
先頭 I/O No.	iw_StartIONo	ワード	0～FFFF (16 進数)	CC-Link IE フィールドネットワークマスタ・ローカルユニットが装着されている先頭 I/O No.を 16 進数で指定します。
局番	iw_StationNo	ワード	1～78 (16 進数)	対象の防水タイプリモート IO-Link ユニットの局番を指定します。

名称	ラベル名	データ型	有効範囲	説明
入出力切替え指令	iw_InOutSwitch	ワード	0～FFFF (16 進数)	各 CH の Q/CQ の入力/出力を指定します。 ただし、対応する CH の CQ が IO-Link モードで動作している場合、本設定は反映されません。 指定方法の詳細は「付録 1.1 入出力切替え指令」を参照してください。
モード切替え指令	iw_ModeSwitch	ワード	0～FF (16 進数)	各 CH のモードを指定します。 指定方法の詳細は「付録 1.2 モード切替え指令」を参照してください。
イベント削除設定	iw_EventsClear	ワード	0～FF (16 進数)	各 CH のイベント削除を指定します。 指定方法の詳細は「付録 1.3 イベント削除設定」を参照してください。
上下バイトデータ交換設定	iw_DataSwap	ワード	0～FF (16 進数)	各 CH の上下バイトデータ交換機能の有効/無効を指定します。 指定方法の詳細は「付録 1.4 上下バイトデータ交換設定」を参照してください。
プロセスデータサイズ設定	iw_ProcDataSize	ワード	-	プロセスデータサイズが格納されているエリアの先頭デバイスを指定します。 プロセスデータサイズはワード単位です。 各 CH のプロセスデータサイズの有効範囲は 1～16 ワードです。 指定方法の詳細は「付録 1.5 プロセスデータサイズ設定」を参照してください。

名称	ラベル名	データ型	初期値	説明
実行状態	FB_ENO	ビット	OFF	ON: 実行命令 ON 中 OFF: 実行命令 OFF
正常完了	FB_OK	ビット	OFF	ON: FB 正常完了 OFF: FB 未完了
エラー終了	FB_ERROR	ビット	OFF	ON: FB 異常完了 OFF: FB 未完了
エラーコード	ERROR_ID	ワード	0	発生したエラーコードを返します。
リモート出力値	ow_RYOutputs	ワード	0	防水タイプリモート IO-Link ユニットのリモート出力に書き込む値を返します。 防水タイプリモート IO-Link ユニットのリモート出力に書き込む値を格納するエリアの先頭デバイスを指定してください。 また、格納した値は以下のリモート出力に書き込んでください。 (出力した先頭デバイス)+0: (リモート出力の先頭デバイス)+1 (出力した先頭デバイス)+1: (リモート出力の先頭デバイス)+2
エラー状態フラグ	ob_UnitError	ビット	OFF	ユニット状態エリアのエラー状態フラグを示します。 ON: 中度又は重度エラー発生中 OFF: エラーなし
リモート READY 状態	ob_UnitReady	ビット	OFF	ユニット状態エリアのリモート READY を示します。 ON: リモート READY が ON OFF: リモート READY が OFF

バージョン	日付	内容
1.00A	2017/04/28	新規作成

ご使用にあたりましては、必ず対象製品のユーザズマニュアルをお読みいただきますようお願い申し上げます。



2. 2 M+NZ2GF12A-60IOLH8\_RdEventData (イベントデータ読出し)

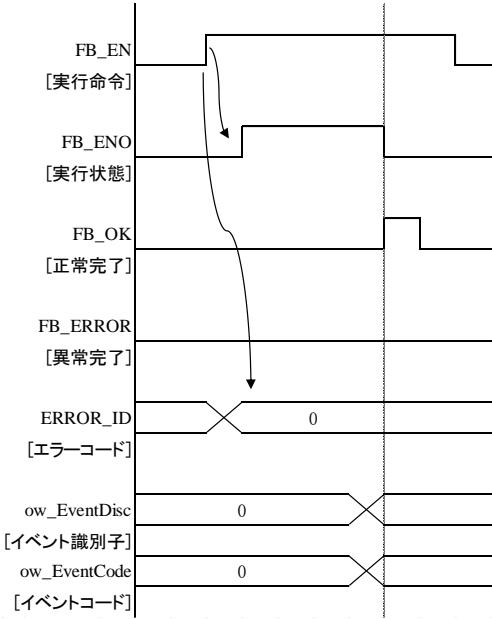
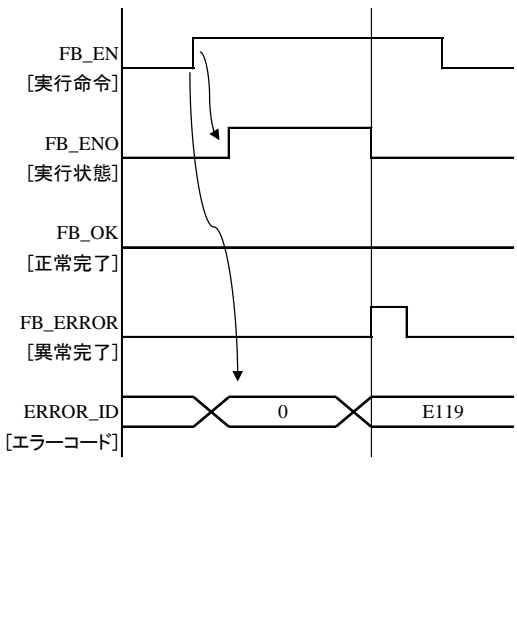
名称

M+NZ2GF12A-60IOLH8\_RdEventData

機能内容

項目	内容								
機能概要	指定CHのイベントデータを読み出します。								
シンボル	<div><div><div>M+NZ2GF12A-60IOLH8_RdEventData</div><div><div>実行指令</div><div>B : FB_EN</div><div>FB_ENO : B</div><div>実行状態</div></div><div><div>先頭I/ONo.</div><div>W : iw_StartIONo</div><div>FB_OK : B</div><div>正常完了</div></div><div><div>局番</div><div>W : iw_StationNo</div><div>FB_ERROR : B</div><div>異常完了</div></div><div><div>CHNo.</div><div>W : iw_CHNo</div><div>ERROR_ID : W</div><div>エラーコード</div></div><div><div></div><div>ow_EventDisc : W</div><div></div><div>イベント識別子</div></div><div><div></div><div>o_wEventCode : W</div><div></div><div>イベントコード</div></div></div></div>								
対象機器	対象 CC-Link IE フィールドネットワークマスター・ローカルユニット	以下のユニットが使用可能です。							
		<table><tr><td>シリーズ</td><td>モデル</td></tr><tr><td>MELSEC-Q シリーズ</td><td>QJ71GF11-T2</td></tr><tr><td>MELSEC-L シリーズ</td><td>LJ71GF11-T2</td></tr></table>	シリーズ	モデル	MELSEC-Q シリーズ	QJ71GF11-T2	MELSEC-L シリーズ	LJ71GF11-T2	
		シリーズ	モデル						
		MELSEC-Q シリーズ	QJ71GF11-T2						
	MELSEC-L シリーズ	LJ71GF11-T2							
対象 CPU	以下のシーケンサ CPU ユニットで本 FB が使用可能です。								
	<table><tr><td>シリーズ</td><td>モデル</td></tr><tr><td rowspan="3">MELSEC-Q シリーズ※1</td><td>ベーシックモデル QCPU※2</td></tr><tr><td>ハイパフォーマンスモデル QCPU※3</td></tr><tr><td>ユニバーサルモデル QCPU</td></tr><tr><td>MELSEC-L シリーズ</td><td>-</td></tr></table>	シリーズ	モデル	MELSEC-Q シリーズ※1	ベーシックモデル QCPU※2	ハイパフォーマンスモデル QCPU※3	ユニバーサルモデル QCPU	MELSEC-L シリーズ	-
	シリーズ	モデル							
	MELSEC-Q シリーズ※1	ベーシックモデル QCPU※2							
ハイパフォーマンスモデル QCPU※3									
ユニバーサルモデル QCPU									
MELSEC-L シリーズ	-								
※1 QCPU-A(A モード)使用不可 ※2 シリアル No.の上 5 桁が”04122”以降 ※3 シリアル No.の上 5 桁が”04012”以降									
	GX Works2	Ver 1.09K 以降							
記述言語	ラダー								



項目	内容
ステップ数	524Step(MELSEC-Q シリーズ・ユニバーサルモデルの場合) ※ プログラムに組み込んだ FB のステップ数は、使用する CPU モデルや、入出力定義によって異なります。
機能説明	FB_EN(実行指令)の ON で、指定した CH のイベントデータを読み出します。
FB コンパイル方式	マクロ型
制約事項, 注意事項等	① 本 FB は、エラーから復帰する処理を含んでいません。エラーから復帰する処理については、お客様のシステムや要求動作に合わせて、別途作成してください。 ② 割込みプログラム内では、本 FB を使用しないでください。 ③ 1 回しか実行されないプログラム(例えば、サブルーチンプログラムや FOR～NEXT)で本 FB を使用すると、FB_EN(実行命令)の OFF 処理を実行することができず正常な動作ができなくなるため、FB_EN(実行命令)の OFF を実行できるプログラムで使用してください。 ④ 本 FB ではインデックスレジスタ Z6～Z9 を使用しているため、割込みプログラムを使用する場合は、割込みプログラム内で該当インデックスレジスタを使用しないでください。 ⑤ 本 FB では、全ての入力ラベルにおいて回路の設定が必要です。 ⑥ 本 FB では出力されず、防水タイプリモート IO-Link ユニットのユニット状態エリアに格納されるユニットエラーコードがあります。
FB 動作	パルス実行型(複数スキャン実行型)
入出力信号の動き	<div><div>【正常終了の場合】</div><div></div></div> <div><div>【異常終了の場合】</div><div></div></div>
関連マニュアル	CC-Link IE フィールドネットワーク防水タイプリモート IO-Link ユニットユーザーズマニュアル

## エラーコード

### ■エラーコード一覧

エラーコード	内容	処置方法
10 (16 進数)	リモート READY が ON 状態ではありません。	リモート READY を ON 状態にしてください。

その他のエラーコードについては「CC-Link IE フィールドネットワーク防水タイプリモート IO-Link ユニットユーザズマニュアル」を参照してください。

## 使用ラベル

### ■入カラベル

名称	ラベル名	データ型	有効範囲	説明
実行命令	FB_EN	ビット	ON, OFF	ON:FB を起動する OFF:FB を起動しない
先頭 I/O No.	iw_StartIONo	ワード	0~FFFF (16 進数)	CC-Link IE フィールドネットワークマスタ・ローカルユニットが装着されている先頭 I/O No.を 16 進数で指定します。
局番	iw_StationNo	ワード	1~78 (16 進数)	対象の防水タイプリモート IO-Link ユニットの局番を指定します。
CHNo.	iw_CHNo	ワード	1~8 (16 進数)	イベントデータを読み出す CH を指定します。

### ■出カラベル

名称	ラベル名	データ型	初期値	説明
実行状態	FB_ENO	ビット	OFF	ON:実行命令 ON 中 OFF:実行命令 OFF
正常完了	FB_OK	ビット	OFF	ON:FB 正常完了 OFF:FB 未完了
エラー終了	FB_ERROR	ビット	OFF	ON:FB 異常完了 OFF:FB 未完了
エラーコード	ERROR_ID	ワード	0	発生したエラーコードを返します。
イベント識別子	ow_EventDisc	ワード	0	読み出したイベント識別子を返します。
イベントコード	ow_EventCode	ワード	0	読み出したイベントコードを返します。 イベントコードの内容は、接続している IO-Link デバイスのマニュアルを参照してください。

## FB のバージョンアップ履歴

バージョン	日付	内容
1.00A	2017/04/28	新規作成

## お願い

本章はファンクションブロックの機能を説明した資料です。

ユニットや CPU ユニットの使用上の制限事項, 組み合わせによる制限事項などについては記載されていません。

ご使用にあたりましては, 必ず対象製品のユーザーズマニュアルをお読みいただきますようお願い申し上げます。

2. 3 M+NZ2GF12A-60IOLH8\_RdIdtData (ゲートウェイ識別データ読出し)

名称

M+NZ2GF12A-60IOLH8\_RdIdtData

機能内容

項目	内容																											
機能概要	防水タイプリモート IO-Link ユニットのゲートウェイ識別データを読み出します。																											
シンボル	<table><tr><td></td><td colspan="2">M+NZ2GF12A-60IOLH8_RdIdtData</td><td></td></tr><tr><td>実行指令</td><td>B : FB_EN</td><td>FB_ENO : B</td><td>実行状態</td></tr><tr><td>先頭I/ONo.</td><td>W : iw_StartIONo</td><td>FB_OK : B</td><td>正常完了</td></tr><tr><td>局番</td><td>W : iw_StationNo</td><td>FB_ERROR : B</td><td>異常完了</td></tr><tr><td>ゲートウェイ識別データ項目</td><td>W : iw_IdtIndex</td><td>ERROR_ID : W</td><td>エラーコード</td></tr><tr><td></td><td></td><td>ow_IdtData : W</td><td>ゲートウェイ識別データ</td></tr></table>					M+NZ2GF12A-60IOLH8_RdIdtData			実行指令	B : FB_EN	FB_ENO : B	実行状態	先頭I/ONo.	W : iw_StartIONo	FB_OK : B	正常完了	局番	W : iw_StationNo	FB_ERROR : B	異常完了	ゲートウェイ識別データ項目	W : iw_IdtIndex	ERROR_ID : W	エラーコード			ow_IdtData : W	ゲートウェイ識別データ
	M+NZ2GF12A-60IOLH8_RdIdtData																											
実行指令	B : FB_EN	FB_ENO : B	実行状態																									
先頭I/ONo.	W : iw_StartIONo	FB_OK : B	正常完了																									
局番	W : iw_StationNo	FB_ERROR : B	異常完了																									
ゲートウェイ識別データ項目	W : iw_IdtIndex	ERROR_ID : W	エラーコード																									
		ow_IdtData : W	ゲートウェイ識別データ																									
対象機器	対象 CC-Link IE フィールドネットワークマスター・ローカルユニット	以下のユニットが使用可能です。																										
		シリーズ	モデル																									
		MELSEC-Q シリーズ	QJ71GF11-T2																									
		MELSEC-L シリーズ	LJ71GF11-T2																									
	対象 CPU	以下のシーケンサ CPU ユニットで本 FB が使用可能です。																										
		シリーズ	モデル																									
		MELSEC-Q シリーズ※1	ベーシックモデル QCPU※2																									
			ハイパフォーマンスモデル QCPU※3																									
			ユニバーサルモデル QCPU																									
		MELSEC-L シリーズ	-																									
※1 QCPU-A(A モード)使用不可																												
※2 シリアル No.の上 5 桁が”04122”以降																												
※3 シリアル No.の上 5 桁が”04012”以降																												
GX Works2	Ver 1.09K 以降																											
記述言語	ラダー																											
ステップ数	538Step(MELSEC-Q シリーズ・ユニバーサルモデルの場合) ※ プログラムに組み込んだ FB のステップ数は、使用する CPU モデルや、入出力定義によって異なります。																											
機能説明	FB_EN(実行指令)の ON で、指定した防水タイプリモート IO-Link ユニットのゲートウェイ識別データを読み出します。																											

項目	内容
FB コンパイル方式	マクロ型
制約事項, 注意事項等	<p>① 本 FB は、エラーから復帰する処理を含んでいません。エラーから復帰する処理については、お客様のシステムや要求動作に合わせて、別途作成してください。</p> <p>② 割込みプログラム内では、本 FB を使用しないでください。</p> <p>③ 1 回しか実行されないプログラム(例えば、サブルーチンプログラムや FOR～NEXT)で本 FB を使用すると、FB_EN(実行命令)の OFF 処理を実行することができず正常な動作ができなくなるため、FB_EN(実行命令)の OFF を実行できるプログラムで使用してください。</p> <p>④ 本 FB ではインデックスレジスタ Z6～Z9 を使用しているため、割込みプログラムを使用する場合は、割込みプログラム内で該当インデックスレジスタを使用しないでください。</p> <p>⑤ 本 FB では、全ての入ラベルにおいて回路の設定が必要です。</p> <p>⑥ 本 FB では出力されず、防水タイプリモート IO-Link ユニットのユニット状態エリアに格納されるユニットエラーコードがあります。</p>
FB 動作	パルス実行型(複数スキャン実行型)
入出力信号の動き	<div> <div>【正常終了の場合】</div> </div> <div> <div>【異常終了の場合】</div> </div>
関連マニュアル	CC-Link IE フィールドネットワーク防水タイプリモート IO-Link ユニットユーザーズマニュアル

## エラーコード

### ■エラーコード一覧

エラーコード	内容	処置方法
10 (16 進数)	リモート READY が ON 状態ではありません。	リモート READY を ON 状態にしてください。

その他のエラーコードについては「CC-Link IE フィールドネットワーク防水タイプリモート IO-Link ユニットユーザーズマニュアル」を参照してください。

## 使用ラベル

### ■入カラベル

名称	ラベル名	データ型	有効範囲	説明
実行命令	FB_EN	ビット	ON, OFF	ON:FB を起動する OFF:FB を起動しない
先頭 I/O No.	iw_StartIONo	ワード	0~FFFF (16 進数)	CC-Link IE フィールドネット ワークマスタ・ローカルユニット が装着されている先頭 I/O No.を 16 進数で指定します。
局番	iw_StationNo	ワード	1~78 (16 進数)	対象の防水タイプリモート IO-Link ユニットの局番を指 定します。
ゲートウェイ識別デー タ項目	iw_IdtIndex	ワード	10~14 (16 進数)	読み出す識別データの項目 を指定します。 H10:製造者名 H11:製造者テキスト H12:製品名 H13:製品 ID H14:製品テキスト

### ■出カラベル

名称	ラベル名	データ型	初期値	説明
実行状態	FB_ENO	ビット	OFF	ON:実行命令 ON 中 OFF:実行命令 OFF
正常完了	FB_OK	ビット	OFF	ON:FB 正常完了 OFF:FB 未完了
エラー終了	FB_ERROR	ビット	OFF	ON:FB 異常完了 OFF:FB 未完了
エラーコード	ERROR_ID	ワード	0	発生したエラーコードを返します。
ゲートウェイ識別デー タ	ow_IdtData	ワード	0	読み出したゲートウェイ識別データの値を返し ます。 読み出したゲートウェイ識別データの値を格納 するエリアの先頭デバイスを指定してください。 識別データが格納されるエリアのサイズは、読 み出したゲートウェイ識別データの項目により ます。

## FB のバージョンアップ履歴

バージョン	日付	内容
1.00A	2017/04/28	新規作成

## お願い

本章はファンクションブロックの機能を説明した資料です。

ユニットや CPU ユニットの使用上の制限事項, 組み合わせによる制限事項などについては記載されていません。

ご使用にあたりましては, 必ず対象製品のユーザーズマニュアルをお読みいただきますようお願い申し上げます。

2. 4 M+NZ2GF12A-60IOLH8\_RdInitOprSet (イニシャル動作設定読み出し)

名称

M+NZ2GF12A-60IOLH8\_RdInitOprSet

機能内容

項目	内容								
機能概要	防水タイプリモートIO-Linkユニットのイニシャル動作設定を読み出します。								
シンボル	<div><div>M+NZ2GF12A-60IOLH8_RdInitOprSet</div><div><div>実行指令</div><div>B : FB_EN</div><div>FB_ENO : B</div><div>実行状態</div></div><div><div>先頭I/ONo.</div><div>W : iw_StartIONo</div><div>FB_OK : B</div><div>正常完了</div></div><div><div>局番</div><div>W : iw_StationNo</div><div>FB_ERROR : B</div><div>異常完了</div></div><div><div></div><div></div><div>ERROR_ID : W</div><div>エラーコード</div></div><div><div></div><div></div><div>ob_InitSetting : B</div><div>イニシャル動作設定</div></div></div>								
対象機器	対象 CC-Link IE フィールドネットワークマスター・ローカルユニット	以下のユニットが使用可能です。							
		<table><tr><td>シリーズ</td><td>モデル</td></tr><tr><td>MELSEC-Q シリーズ</td><td>QJ71GF11-T2</td></tr><tr><td>MELSEC-L シリーズ</td><td>LJ71GF11-T2</td></tr></table>	シリーズ	モデル	MELSEC-Q シリーズ	QJ71GF11-T2	MELSEC-L シリーズ	LJ71GF11-T2	
		シリーズ	モデル						
	MELSEC-Q シリーズ	QJ71GF11-T2							
MELSEC-L シリーズ	LJ71GF11-T2								
対象 CPU	以下のシーケンサ CPU ユニットで本 FB が使用可能です。								
	<table><tr><td>シリーズ</td><td>モデル</td></tr><tr><td rowspan="3">MELSEC-Q シリーズ※1</td><td>ベーシックモデル QCPU※2</td></tr><tr><td>ハイパフォーマンスモデル QCPU※3</td></tr><tr><td>ユニバーサルモデル QCPU</td></tr><tr><td>MELSEC-L シリーズ</td><td>-</td></tr></table> <div>※1 QCPU-A(A モード)使用不可</div> <div>※2 シリアル No.の上 5 桁が”04122”以降</div> <div>※3 シリアル No.の上 5 桁が”04012”以降</div>	シリーズ	モデル	MELSEC-Q シリーズ※1	ベーシックモデル QCPU※2	ハイパフォーマンスモデル QCPU※3	ユニバーサルモデル QCPU	MELSEC-L シリーズ	-
シリーズ	モデル								
MELSEC-Q シリーズ※1	ベーシックモデル QCPU※2								
	ハイパフォーマンスモデル QCPU※3								
	ユニバーサルモデル QCPU								
MELSEC-L シリーズ	-								
	GX Works2	Ver 1.09K 以降							
記述言語	ラダー								
ステップ数	539Step(MELSEC-Q シリーズ・ユニバーサルモデルの場合) ※ プログラムに組み込んだ FB のステップ数は、使用する CPU モデルや、入出力定義によって異なります。								
機能説明	FB_EN(実行指令)の ON で、指定した防水タイプリモート IO-Link ユニットのイニシャル動作設定を読み出します。								



項目	内容
FB コンパイル方式	マクロ型
制約事項, 注意事項等	<p>① 本 FB は、エラーから復帰する処理を含んでいません。エラーから復帰する処理については、お客様のシステムや要求動作に合わせて、別途作成してください。</p> <p>② 割込みプログラム内では、本 FB を使用しないでください。</p> <p>③ 1 回しか実行されないプログラム(例えば、サブルーチンプログラムや FOR～NEXT)で本 FB を使用すると、FB_EN(実行命令)の OFF 処理を実行することができず正常な動作ができなくなるため、FB_EN(実行命令)の OFF を実行できるプログラムで使用してください。</p> <p>④ 本 FB ではインデックスレジスタ Z6～Z9 を使用しているため、割込みプログラムを使用する場合は、割込みプログラム内で該当インデックスレジスタを使用しないでください。</p> <p>⑤ 本 FB では、全ての入ラベルにおいて回路の設定が必要です。</p> <p>⑥ 本 FB では出力されず、防水タイプリモート IO-Link ユニットのユニット状態エリアに格納されるユニットエラーコードがあります。</p>
FB 動作	パルス実行型(複数スキャン実行型)
入出力信号の動き	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="width: 45%;"> <p><b>【正常終了の場合】</b></p> </div> <div style="width: 45%;"> <p><b>【異常終了の場合】</b></p> </div> </div>
関連マニュアル	CC-Link IE フィールドネットワーク防水タイプリモート IO-Link ユニットユーザーズマニュアル

## エラーコード

### ■エラーコード一覧

エラーコード	内容	処置方法
10 (16 進数)	リモート READY が ON 状態ではありません。	リモート READY を ON 状態にしてください。

その他のエラーコードについては「CC-Link IE フィールドネットワーク防水タイプリモート IO-Link ユニットユーザーズマニュアル」を参照してください。

## 使用ラベル

### ■入力ラベル

名称	ラベル名	データ型	有効範囲	説明
実行命令	FB_EN	ビット	ON, OFF	ON:FB を起動する OFF:FB を起動しない
先頭 I/O No.	iw_StartIONo	ワード	0~FFFF (16 進数)	CC-Link IE フィールドネット ワークマスタ・ローカルユニッ トが装着されている先頭 I/O No.を 16 進数で指定します。
局番	iw_StationNo	ワード	1~78 (16 進数)	対象の防水タイプリモート IO-Link ユニットの局番を指 定します。

### ■出力ラベル

名称	ラベル名	データ型	初期値	説明
実行状態	FB_ENO	ビット	OFF	ON:実行命令 ON 中 OFF:実行命令 OFF
正常完了	FB_OK	ビット	OFF	ON:FB 正常完了 OFF:FB 未完了
エラー終了	FB_ERROR	ビット	OFF	ON:FB 異常完了 OFF:FB 未完了
エラーコード	ERROR_ID	ワード	0	発生したエラーコードを返します。
イニシャル動作設定	ob_InitSetting	ビット	OFF	ON:イニシャル動作なし OFF:イニシャル動作あり

## FB のバージョンアップ履歴

バージョン	日付	内容
1.00A	2017/04/28	新規作成

## お願い

本章はファンクションブロックの機能を説明した資料です。

ユニットや CPU ユニットの使用上の制限事項、組み合わせによる制限事項などについては記載されていません。

ご使用にあたりましては、必ず対象製品のユーザーズマニュアルをお読みいただきますようお願い申し上げます。

2. 5 M+NZ2GF12A-60IOLH8\_RdISDUData (ISDU データ読出し)

名称

M+NZ2GF12A-60IOLH8\_RdISDUData

機能内容

項目	内容																																	
機能概要	指定 CH の ISDU データを読み出します。																																	
シンボル	<table><tr><td colspan="4">M+NZ2GF12A-60IOLH8_RdISDUData</td></tr><tr><td>実行指令</td><td>B : FB_EN</td><td>FB_ENO : B</td><td>実行状態</td></tr><tr><td>先頭I/ONo.</td><td>W : iw_StartIONo</td><td>FB_OK : B</td><td>正常完了</td></tr><tr><td>局番</td><td>W : iw_StationNo</td><td>FB_ERROR : B</td><td>異常完了</td></tr><tr><td>CHNo.</td><td>W : iw_CHNo</td><td>ERROR_ID : W</td><td>エラーコード</td></tr><tr><td>インデックス</td><td>W : iw_Index</td><td>ow_ISDUData : W</td><td>ISDUデータ</td></tr><tr><td>サブインデックス</td><td>W : iw_SubIndex</td><td></td><td></td></tr><tr><td>ISDUデータ長</td><td>W : iw_ISDUDataLen</td><td></td><td></td></tr></table>		M+NZ2GF12A-60IOLH8_RdISDUData				実行指令	B : FB_EN	FB_ENO : B	実行状態	先頭I/ONo.	W : iw_StartIONo	FB_OK : B	正常完了	局番	W : iw_StationNo	FB_ERROR : B	異常完了	CHNo.	W : iw_CHNo	ERROR_ID : W	エラーコード	インデックス	W : iw_Index	ow_ISDUData : W	ISDUデータ	サブインデックス	W : iw_SubIndex			ISDUデータ長	W : iw_ISDUDataLen		
M+NZ2GF12A-60IOLH8_RdISDUData																																		
実行指令	B : FB_EN	FB_ENO : B	実行状態																															
先頭I/ONo.	W : iw_StartIONo	FB_OK : B	正常完了																															
局番	W : iw_StationNo	FB_ERROR : B	異常完了																															
CHNo.	W : iw_CHNo	ERROR_ID : W	エラーコード																															
インデックス	W : iw_Index	ow_ISDUData : W	ISDUデータ																															
サブインデックス	W : iw_SubIndex																																	
ISDUデータ長	W : iw_ISDUDataLen																																	
対象機器	対象 CC-Link IE フィールドネットワークマスター・ローカルユニット	以下のユニットが使用可能です。																																
		シリーズ	モデル																															
		MELSEC-Q シリーズ	QJ71GF11-T2																															
		MELSEC-L シリーズ	LJ71GF11-T2																															
	対象 CPU	対象 CPU	以下のシーケンサ CPU ユニットで本 FB が使用可能です。																															
シリーズ			モデル																															
MELSEC-Q シリーズ※1			ベーシックモデル QCPU※2																															
			ハイパフォーマンスモデル QCPU※3																															
			ユニバーサルモデル QCPU																															
MELSEC-L シリーズ	-																																	
	※1 QCPU-A(A モード)使用不可																																	
	※2 シリアル No.の上 5 桁が”04122”以降																																	
	※3 シリアル No.の上 5 桁が”04012”以降																																	
	GX Works2	Ver 1.09K 以降																																
記述言語	ラダー																																	

項目	内容
ステップ数	644Step(MELSEC-Q シリーズ・ユニバーサルモデルの場合) ※ プログラムに組み込んだ FB のステップ数は、使用する CPU モデルや、入出力定義によって異なります。
機能説明	FB_EN(実行指令)の ON で、指定した CH の ISDU データを読み出します。
FB コンパイル方式	マクロ型
制約事項、注意事項等	<p>① 本 FB は、エラーから復帰する処理を含んでいません。エラーから復帰する処理については、お客様のシステムや要求動作に合わせて、別途作成してください。</p> <p>② 割込みプログラム内では、本 FB を使用しないでください。</p> <p>③ 1 回しか実行されないプログラム(例えば、サブルーチンプログラムや FOR～NEXT)で本 FB を使用すると、FB_EN(実行命令)の OFF 処理を実行することができず正常な動作ができなくなるため、FB_EN(実行命令)の OFF を実行できるプログラムで使用してください。</p> <p>④ 本 FB ではインデックスレジスタ Z6～Z9 を使用しているため、割込みプログラムを使用する場合は、割込みプログラム内で該当インデックスレジスタを使用しないでください。</p> <p>⑤ 本 FB では、全ての入力ラベルにおいて回路の設定が必要です。</p> <p>⑥ 本 FB では出力されず、防水タイプリモート IO-Link ユニットのユニット状態エリアに格納されるユニットエラーコードがあります。</p>
FB 動作	パルス実行型(複数スキャン実行型)
入出力信号の動き	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="width: 45%;"> <p>【正常終了の場合】</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p>【異常終了の場合】</p> </div> </div>
関連マニュアル	CC-Link IE フィールドネットワーク防水タイプリモート IO-Link ユニットユーザーズマニュアル

エラーコード

■エラーコード一覧

エラーコード	内容	処置方法
10 (16 進数)	リモート READY が ON 状態ではありません。	リモート READY を ON 状態にしてください。

その他のエラーコードについては「CC-Link IE フィールドネットワーク防水タイプリモート IO-Link ユニットユーザーズマニュアル」を参照してください。

## 使用ラベル

### ■入カラベル

名称	ラベル名	データ型	有効範囲	説明
実行命令	FB_EN	ビット	ON, OFF	ON:FB を起動する OFF:FB を起動しない
先頭 I/O No.	iw_StartIONo	ワード	0~FFFF (16 進数)	CC-Link IE フィールドネット ワークマスタ・ローカルユニット が装着されている先頭 I/O No.を 16 進数で指定します。
局番	iw_StationNo	ワード	1~78 (16 進数)	対象のリモート IO-Link ユニ ットの局番を指定します。
CHNo.	iw_CHNo	ワード	1~8 (16 進数)	ISDU データを読み出す CH を指定します。
インデックス	iw_Index	ワード	0~FFFF (16 進数)	読み出す ISDU データのイン デックス値を指定します。 インデックス値については、 接続している IO-Link デバイ スのマニュアルを参照してく ださい。
サブインデックス	iw_SubIndex	ワード	0~FF (16 進数)	読み出す ISDU データのサ ブインデックス値を指定しま す。 サブインデックス値について は、接続している IO-Link デ バイスのマニュアルを参照し てください。
ISDU データ長	iw_ISDUDataLen	ワード	読み出す ISDU データにより ます。詳細は、接続している IO-Link デバイスのマニユ アルを参照してください。	読み出す ISDU データの長さ (バイト単位)を指定してくだ さい※1。

※1 ISDU データ長に奇数を指定していた場合、指定したデータ長に+1 したバイト数の ISDU データを読み出します。  
例)ISDU データ長に 3 バイトを指定した場合、4 バイトの ISDU データを読み出します。

## ■出力ラベル

名称	ラベル名	データ型	初期値	説明
実行状態	FB_ENO	ビット	OFF	ON:実行命令 ON 中 OFF:実行命令 OFF
正常完了	FB_OK	ビット	OFF	ON:FB 正常完了 OFF:FB 未完了
エラー終了	FB_ERROR	ビット	OFF	ON:FB 異常完了 OFF:FB 未完了
エラーコード	ERROR_ID	ワード	0	発生したエラーコードを返します。
ISDU データ	ow_ISDUData	ワード	0	読み出した ISDU データの値を返します。 ISDU データの値を格納するエリアの先頭デバイスを指定してください。ISDU データが格納されるエリアのサイズは、読み出した ISDU データによります。

## FB のバージョンアップ履歴

バージョン	日付	内容
1.00A	2017/04/28	新規作成

## お願い

本章はファンクションブロックの機能を説明した資料です。

ユニットや CPU ユニットの使用上の制限事項、組み合わせによる制限事項などについては記載されていません。

ご使用にあたりましては、必ず対象製品のユーザーズマニュアルをお読みいただきますようお願い申し上げます。

2. 6 M+NZ2GF12A-60IOLH8\_RdStrData (ストレージデータ読出し)

名称

M+NZ2GF12A-60IOLH8\_RdStrData

機能内容

項目	内容								
機能概要	指定 CH のストレージデータを読み出します。								
シンボル	<div><div><div>実行指令</div><div>先頭I/ONo.</div><div>局番</div><div>CHNo.</div><div>セクションNo.</div><div>ストレージデータ長</div></div><div><div>M+NZ2GF12A-60IOLH8_RdStrData</div><div>B : FB_EN</div><div>W : iw_StartIONo</div><div>W : iw_StationNo</div><div>W : iw_CHNo</div><div>W : iw_SectionNo</div><div>W : iw_StrDataLen</div></div><div><div>FB_ENO : B</div><div>FB_OK : B</div><div>FB_ERROR : B</div><div>ERROR_ID : W</div><div>ow_StorageData : W</div></div><div><div>実行状態</div><div>正常完了</div><div>異常完了</div><div>エラーコード</div><div>ストレージデータ</div></div></div>								
対象機器	対象 CC-Link IE フィールドネットワークマスター・ローカルユニット	以下のユニットが使用可能です。							
		<table><tr><td>シリーズ</td><td>モデル</td></tr><tr><td>MELSEC-Q シリーズ</td><td>QJ71GF11-T2</td></tr><tr><td>MELSEC-L シリーズ</td><td>LJ71GF11-T2</td></tr></table>	シリーズ	モデル	MELSEC-Q シリーズ	QJ71GF11-T2	MELSEC-L シリーズ	LJ71GF11-T2	
		シリーズ	モデル						
	MELSEC-Q シリーズ	QJ71GF11-T2							
	MELSEC-L シリーズ	LJ71GF11-T2							
対象 CPU	以下のシーケンサ CPU ユニットで本 FB が使用可能です。								
	<table><tr><td>シリーズ</td><td>モデル</td></tr><tr><td rowspan="3">MELSEC-Q シリーズ※1</td><td>ベーシックモデル QCPU※2</td></tr><tr><td>ハイパフォーマンスモデル QCPU※3</td></tr><tr><td>ユニバーサルモデル QCPU</td></tr><tr><td>MELSEC-L シリーズ</td><td>-</td></tr></table>	シリーズ	モデル	MELSEC-Q シリーズ※1	ベーシックモデル QCPU※2	ハイパフォーマンスモデル QCPU※3	ユニバーサルモデル QCPU	MELSEC-L シリーズ	-
	シリーズ	モデル							
	MELSEC-Q シリーズ※1	ベーシックモデル QCPU※2							
		ハイパフォーマンスモデル QCPU※3							
ユニバーサルモデル QCPU									
MELSEC-L シリーズ	-								
※1 QCPU-A(A モード)使用不可									
※2 シリアル No.の上 5 桁が”04122”以降									
※3 シリアル No.の上 5 桁が”04012”以降									
GX Works2	Ver 1.09K 以降								
記述言語	ラダー								
ステップ数	543Step(MELSEC-Q シリーズ・ユニバーサルモデルの場合) ※ プログラムに組み込んだFB のステップ数は、使用するCPU モデルや、入出力定義によって異なります。								

項目	内容
機能説明	FB_EN(実行指令)の ON で、指定した CH のストレージデータを読み出します。
FB コンパイル方式	マクロ型
制約事項, 注意事項等	<p>① 本 FB は、エラーから復帰する処理を含んでいません。エラーから復帰する処理については、お客様のシステムや要求動作に合わせて、別途作成してください。</p> <p>② 割込みプログラム内では、本 FB を使用しないでください。</p> <p>③ 1 回しか実行されないプログラム(例えば、サブルーチンプログラムや FOR～NEXT)で本 FB を使用すると、FB_EN(実行命令)の OFF 処理を実行することができず正常な動作ができなくなるため、FB_EN(実行命令)の OFF を実行できるプログラムで使用してください。</p> <p>④ 本 FB ではインデックスレジスタ Z6～Z9 を使用しているため、割込みプログラムを使用する場合は、割込みプログラム内で該当インデックスレジスタを使用しないでください。</p> <p>⑤ 本 FB では、全ての入カラベルにおいて回路の設定が必要です。</p> <p>⑥ 本 FB では出力されず、防水タイプリモート IO-Link ユニットのユニット状態エリアに格納されるユニットエラーコードがあります。</p>
FB 動作	パルス実行型(複数スキャン実行型)
入出力信号の動き	<div> <div>【正常終了の場合】</div> </div> <div> <div>【異常終了の場合】</div> </div>
関連マニュアル	CC-Link IE フィールドネットワーク防水タイプリモート IO-Link ユニットユーザーズマニュアル

エラーコード

■エラーコード一覧

エラーコード	内容	処置方法
10 (16 進数)	リモート READY が ON 状態ではありません。	リモート READY を ON 状態にしてください。

その他のエラーコードについては「CC-Link IE フィールドネットワーク防水タイプリモート IO-Link ユニットユーザーズマニュアル」を参照してください。



## 使用ラベル

### ■入カラベル

名称	ラベル名	データ型	有効範囲	説明
実行命令	FB_EN	ビット	ON, OFF	ON:FB を起動する OFF:FB を起動しない
先頭 I/O No.	iw_StartIONo	ワード	0~FFFF (16 進数)	CC-Link IE フィールドネット ワークマスタ・ローカルユニット が装着されている先頭 I/O No.を 16 進数で指定します。
局番	iw_StationNo	ワード	1~78 (16 進数)	対象の防水タイプリモート IO-Link ユニットの局番を指 定します。
CHNo.	iw_CHNo	ワード	1~8 (16 進数)	ストレージデータを読み出す CH を指定します。
セクション No.	iw_SectionNo	ワード	0~2 (16 進数)	読み出すストレージデータの セクションを指定します。
ストレージデータ長	iw_StrDataLen	ワード	セクション 0, 1:1~156 セクション 2 :1~154 (16 進数)	読み出すストレージデータの 長さ(ワード単位)を指定しま す。

### ■出カラベル

名称	ラベル名	データ型	初期値	説明
実行状態	FB_ENO	ビット	OFF	ON:実行命令 ON 中 OFF:実行命令 OFF
正常完了	FB_OK	ビット	OFF	ON:FB 正常完了 OFF:FB 未完了
エラー終了	FB_ERROR	ビット	OFF	ON:FB 異常完了 OFF:FB 未完了
エラーコード	ERROR_ID	ワード	0	発生したエラーコードを返します。
ストレージデータ	ow_StorageData	ワード	0	読み出したストレージデータを返します。 ストレージデータの値を格納するエリアの先頭 デバイスを指定してください。ストレージデータ はストレージデータ長(iw_StrDataLen)で指定し たワード数分のエリアに格納されます。

## FB のバージョンアップ履歴

バージョン	日付	内容
1.00A	2017/04/28	新規作成

## お願い

本章はファンクションブロックの機能を説明した資料です。

ユニットや CPU ユニットの使用上の制限事項, 組み合わせによる制限事項などについては記載されていません。

ご使用にあたりましては, 必ず対象製品のユーザーズマニュアルをお読みいただきますようお願い申し上げます。

2. 7 M+NZ2GF12A-60IOLH8\_WtDataStrSet (データストレージ設定書込み)

名称

M+NZ2GF12A-60IOLH8\_WtDataStrSet

機能内容

項目	内容		
機能概要	各 CH にデータストレージ設定を書き込みます。		
シンボル	<div><div><div>実行指令</div><div>先頭I/ONo.</div><div>局番</div><div>データストレージ有効設定</div><div>アップロード設定</div><div>ダウンロード設定</div><div>データストレージ消去設定</div></div><div><div>M+NZ2GF12A-60IOLH8_WtDataStrSet</div><div>B : FB_EN</div><div>W : iw_StartIONo</div><div>W : iw_StationNo</div><div>W : iw_DataStrSU</div><div>W : iw_DataStrUL</div><div>W : iw_DataStrDL</div><div>W : iw_DataStrClr</div></div><div><div>FB_ENO : B</div><div>FB_OK : B</div><div>FB_ERROR : B</div><div>ERROR_ID : W</div></div><div><div>実行状態</div><div>正常完了</div><div>異常完了</div><div>エラーコード</div></div></div>		
対象機器	対象 CC-Link IE フィールドネットワークマスター・ローカルユニット	以下のユニットが使用可能です。	
		シリーズ	モデル
		MELSEC-Q シリーズ	QJ71GF11-T2
		MELSEC-L シリーズ	LJ71GF11-T2
	対象 CPU	対象 CPU	以下のシーケンサ CPU ユニットで本 FB が使用可能です。
シリーズ			モデル
MELSEC-Q シリーズ※1			ベーシックモデル QCPU※2
			ハイパフォーマンスモデル QCPU※3
			ユニバーサルモデル QCPU
MELSEC-L シリーズ	-		
		※1 QCPU-A(A モード)使用不可 ※2 シリアル No.の上 5 桁が”04122”以降 ※3 シリアル No.の上 5 桁が”04012”以降	
GX Works2		Ver 1.09K 以降	
記述言語	ラダー		

項目	内容
ステップ数	896Step(MELSEC-Q シリーズ・ユニバーサルモデルの場合) ※ プログラムに組み込んだFB のステップ数は、使用するCPU モデルや、入出力定義によって異なります。
機能説明	FB_EN(実行指令)の ON で、各 CH にデータストレージ設定を書き込みます。
FB コンパイル方式	マクロ型
制約事項、注意事項等	<p>① 本FB は、エラーから復帰する処理を含んでいません。エラーから復帰する処理については、お客様のシステムや要求動作に合わせて、別途作成してください。</p> <p>② 割込みプログラム内では、本 FB を使用しないでください。</p> <p>③ 1 回しか実行されないプログラム(例えば、サブルーチンプログラムや FOR～NEXT)で本 FB を使用すると、FB_EN(実行命令)の OFF 処理を実行することができず正常な動作ができなくなるため、FB_EN(実行命令)の OFF を実行できるプログラムで使用してください。</p> <p>④ 本 FB ではインデックスレジスタ Z6～Z9 を使用しているため、割込みプログラムを使用する場合は、割込みプログラム内で該当インデックスレジスタを使用しないでください。</p> <p>⑤ 本 FB では、全ての入カラベルにおいて回路の設定が必要です。</p> <p>⑥ 本 FB では出力されず、防水タイプリモート IO-Link ユニットのユニット状態エリアに格納されるユニットエラーコードがあります。</p> <p>⑦ 本 FB では実行後、設定を反映させるために動作条件設定要求フラグを ON する必要があります。設定を反映させるためのプログラムを別途作成してください。</p> <p>⑧ 動作条件設定要求フラグは本 FB 実行完了後、500ms 経過後に ON してください。</p>
FB 動作	パルス実行型(複数スキャン実行型)
入出力信号の動き	<div> <div>【正常終了の場合】</div> </div> <div> <div>【異常終了の場合】</div> </div>
関連マニュアル	CC-Link IE フィールドネットワーク防水タイプリモート IO-Link ユニットユーザーズマニュアル

## エラーコード

### ■エラーコード一覧

エラーコード	内容	処置方法
10 (16 進数)	リモート READY が ON 状態ではありません。	リモート READY を ON 状態にしてください。

その他のエラーコードについては「CC-Link IE フィールドネットワーク防水タイプリモート IO-Link ユニットユーザズマニュアル」を参照してください。

## 使用ラベル

### ■入カラベル

名称	ラベル名	データ型	有効範囲	説明
実行命令	FB_EN	ビット	ON, OFF	ON:FB を起動する OFF:FB を起動しない
先頭 I/O No.	iw_StartIONo	ワード	0~FFFF (16 進数)	CC-Link IE フィールドネットワークマスタ・ローカルユニットが装着されている先頭 I/O No.を 16 進数で指定します。
局番	iw_StationNo	ワード	1~78 (16 進数)	対象の防水タイプリモート IO-Link ユニットの局番を指定します。
データストレージ有効設定	iw_DataStrSU	ワード	0~FF (16 進数)	各 CH のデータストレージの有効/無効を指定します。
アップロード設定	iw_DataStrUL	ワード	0~FF (16 進数)	各 CH のデータストレージのパラメータを IO-Link ゲートウェイにアップロードするかを指定します。
ダウンロード設定	iw_DataStrDL	ワード	0~FF (16 進数)	IO-Link ゲートウェイから各 CH のデータストレージにパラメータをダウンロードするかを指定します。
データストレージ消去設定	iw_DataStrClr	ワード	0~FF (16 進数)	各 CH のデータストレージのパラメータを消去するかを指定します。

## ■出力ラベル

名称	ラベル名	データ型	初期値	説明
実行状態	FB_ENO	ビット	OFF	ON:実行命令 ON 中 OFF:実行命令 OFF
正常完了	FB_OK	ビット	OFF	ON:FB 正常完了 OFF:FB 未完了
エラー終了	FB_ERROR	ビット	OFF	ON:FB 異常完了 OFF:FB 未完了
エラーコード	ERROR_ID	ワード	0	発生したエラーコードを返します。

## FB のバージョンアップ履歴

バージョン	日付	内容
1.00A	2017/04/28	新規作成

## お願い

本章はファンクションブロックの機能を説明した資料です。

ユニットや CPU ユニットの使用上の制限事項, 組み合わせによる制限事項などについては記載されていません。

ご使用にあたりましては, 必ず対象製品のユーザーズマニュアルをお読みいただきますようお願い申し上げます。

2. 8 M+NZ2GF12A-60IOLH8\_WtInitOprSet (イニシャル動作設定書込み)

名称

M+NZ2GF12A-60IOLH8\_WtInitOprSet

機能内容

項目	内容																			
機能概要	防水タイプリモート IO-Link ユニットにイニシャル動作設定を書き込みます。																			
シンボル	<table><tr><td colspan="2">M+NZ2GF12A-60IOLH8_WtInitOprSet</td></tr><tr><td>実行指令</td><td>B : FB_EN</td><td>FB_ENO : B</td><td>実行状態</td></tr><tr><td>先頭I/ONo.</td><td>W : iw_StartIONo</td><td>FB_OK : B</td><td>正常完了</td></tr><tr><td>局番</td><td>W : iw_StationNo</td><td>FB_ERROR : B</td><td>異常完了</td></tr><tr><td>イニシャル動作設定</td><td>B : ib_InitSetting</td><td>ERROR_ID : W</td><td>エラーコード</td></tr></table>		M+NZ2GF12A-60IOLH8_WtInitOprSet		実行指令	B : FB_EN	FB_ENO : B	実行状態	先頭I/ONo.	W : iw_StartIONo	FB_OK : B	正常完了	局番	W : iw_StationNo	FB_ERROR : B	異常完了	イニシャル動作設定	B : ib_InitSetting	ERROR_ID : W	エラーコード
M+NZ2GF12A-60IOLH8_WtInitOprSet																				
実行指令	B : FB_EN	FB_ENO : B	実行状態																	
先頭I/ONo.	W : iw_StartIONo	FB_OK : B	正常完了																	
局番	W : iw_StationNo	FB_ERROR : B	異常完了																	
イニシャル動作設定	B : ib_InitSetting	ERROR_ID : W	エラーコード																	
対象機器	対象 CC-Link IE フィールドネットワークマスター・ローカルユニット	以下のユニットが使用可能です。																		
		シリーズ	モデル																	
		MELSEC-Q シリーズ	QJ71GF11-T2																	
	MELSEC-L シリーズ	LJ71GF11-T2																		
対象 CPU	対象 CPU	以下のシーケンサ CPU ユニットで本 FB が使用可能です。																		
		シリーズ	モデル																	
		MELSEC-Q シリーズ※1	ベーシックモデル QCPU※2																	
			ハイパフォーマンスモデル QCPU※3																	
ユニバーサルモデル QCPU																				
MELSEC-L シリーズ	-																			
		※1 QCPU-A(A モード)使用不可																		
		※2 シリアル No.の上 5 桁が”04122”以降																		
		※3 シリアル No.の上 5 桁が”04012”以降																		
	GX Works2	Ver 1.09K 以降																		
記述言語	ラダー																			
ステップ数	548Step(MELSEC-Q シリーズ・ユニバーサルモデルの場合) ※ プログラムに組み込んだFB のステップ数は、使用するCPU モデルや、入出力定義によって異なります。																			
機能説明	FB_EN(実行指令)の ON で、指定した防水タイプリモート IO-Link ユニットにイニシャル動作設定を書き込みます。																			
FB コンパイル方式	マクロ型																			

項目	内容
制約事項, 注意事項等	<p>① 本 FB は、エラーから復帰する処理を含んでいません。エラーから復帰する処理については、お客様のシステムや要求動作に合わせて、別途作成してください。</p> <p>② 割込みプログラム内では、本 FB を使用しないでください。</p> <p>③ 1 回しか実行されないプログラム(例えば、サブルーチンプログラムや FOR～NEXT)で本 FB を使用すると、FB_EN(実行命令)の OFF 処理を実行することができず正常な動作ができなくなるため、FB_EN(実行命令)の OFF を実行できるプログラムで使用してください。</p> <p>④ 本 FB ではインデックスレジスタ Z6～Z9 を使用しているため、割込みプログラムを使用する場合は、割込みプログラム内で該当インデックスレジスタを使用しないでください。</p> <p>⑤ 本 FB では、全ての入カラベルにおいて回路の設定が必要です。</p> <p>⑥ 本 FB では出力されず、防水タイプリモート IO-Link ユニットのユニット状態エリアに格納されるユニットエラーコードがあります。</p> <p>⑦ 本 FB 実行後、設定を反映させるために動作条件設定要求フラグを ON する必要があります。設定を反映させるためのプログラムを別途作成してください。</p> <p>⑧ 動作条件設定要求フラグは本 FB 実行完了後、500ms 経過後に ON してください。</p>
FB 動作	パルス実行型(複数スキャン実行型)
入出力信号の動き	<div> <div>【正常終了の場合】</div> </div> <div> <div>【異常終了の場合】</div> </div>
関連マニュアル	CC-Link IE フィールドネットワーク防水タイプリモート IO-Link ユニットユーザーズマニュアル

エラーコード

■エラーコード一覧

エラーコード	内容	処置方法
10 (16 進数)	リモート READY が ON 状態ではありません。	リモート READY を ON 状態にしてください。

その他のエラーコードについては「CC-Link IE フィールドネットワーク防水タイプリモート IO-Link ユニットユーザーズマニュアル」を参照してください。



## 使用ラベル

### ■入カラベル

名称	ラベル名	データ型	有効範囲	説明
実行命令	FB_EN	ビット	ON, OFF	ON:FB を起動する OFF:FB を起動しない
先頭 I/O No.	iw_StartIONo	ワード	0~FFFF (16 進数)	CC-Link IE フィールドネット ワークマスタ・ローカルユニット が装着されている先頭 I/O No.を 16 進数で指定します。
局番	iw_StationNo	ワード	1~78 (16 進数)	対象の防水タイプリモート IO-Link ユニットの局番を指 定します。
イニシャル動作設定	ib_InitSetting	ビット	ON, OFF	ON:イニシャル動作なし OFF:イニシャル動作あり

### ■出カラベル

名称	ラベル名	データ型	初期値	説明
実行状態	FB_ENO	ビット	OFF	ON:実行命令 ON 中 OFF:実行命令 OFF
正常完了	FB_OK	ビット	OFF	ON:FB 正常完了 OFF:FB 未完了
エラー終了	FB_ERROR	ビット	OFF	ON:FB 異常完了 OFF:FB 未完了
エラーコード	ERROR_ID	ワード	0	発生したエラーコードを返します。

## FB のバージョンアップ履歴

バージョン	日付	内容
1.00A	2017/04/28	新規作成

## お願い

本章はファンクションブロックの機能を説明した資料です。

ユニットや CPU ユニットの使用上の制限事項、組み合わせによる制限事項などについては記載されていません。

ご使用にあたりましては、必ず対象製品のユーザーズマニュアルをお読みいただきますようお願い申し上げます。

2. 9 M+NZ2GF12A-60IOLH8\_WtISDUDData (ISDU データ書込み)

名称

M+NZ2GF12A-60IOLH8\_WtISDUDData

機能内容

項目	内容																																						
機能概要	指定 CH に ISDU データを書き込みます。																																						
シンボル	<table><tr><td colspan="4">M+NZ2GF12A-60IOLH8_WtISDUDData</td></tr><tr><td>実行指令</td><td>B : FB_EN</td><td>FB_ENO : B</td><td>実行状態</td></tr><tr><td>先頭I/ONo.</td><td>W : iw_StartIONo</td><td>FB_OK : B</td><td>正常完了</td></tr><tr><td>局番</td><td>W : iw_StationNo</td><td>FB_ERROR : B</td><td>異常完了</td></tr><tr><td>CHNo.</td><td>W : iw_CHNo</td><td>ERROR_ID : W</td><td>エラーコード</td></tr><tr><td>インデックス</td><td>W : iw_Index</td><td></td><td></td></tr><tr><td>サブインデックス</td><td>W : iw_SubIndex</td><td></td><td></td></tr><tr><td>ISDUデータ長</td><td>W : iw_ISDUDDataLen</td><td></td><td></td></tr><tr><td>ISDUデータ</td><td>W: iw_ISDUDData</td><td></td><td></td></tr></table>			M+NZ2GF12A-60IOLH8_WtISDUDData				実行指令	B : FB_EN	FB_ENO : B	実行状態	先頭I/ONo.	W : iw_StartIONo	FB_OK : B	正常完了	局番	W : iw_StationNo	FB_ERROR : B	異常完了	CHNo.	W : iw_CHNo	ERROR_ID : W	エラーコード	インデックス	W : iw_Index			サブインデックス	W : iw_SubIndex			ISDUデータ長	W : iw_ISDUDDataLen			ISDUデータ	W: iw_ISDUDData		
M+NZ2GF12A-60IOLH8_WtISDUDData																																							
実行指令	B : FB_EN	FB_ENO : B	実行状態																																				
先頭I/ONo.	W : iw_StartIONo	FB_OK : B	正常完了																																				
局番	W : iw_StationNo	FB_ERROR : B	異常完了																																				
CHNo.	W : iw_CHNo	ERROR_ID : W	エラーコード																																				
インデックス	W : iw_Index																																						
サブインデックス	W : iw_SubIndex																																						
ISDUデータ長	W : iw_ISDUDDataLen																																						
ISDUデータ	W: iw_ISDUDData																																						
対象機器	対象 CC-Link IE フィールドネットワークマスター・ローカルユニット	以下のユニットが使用可能です。																																					
		シリーズ	モデル																																				
		MELSEC-Q シリーズ	QJ71GF11-T2																																				
		MELSEC-L シリーズ	LJ71GF11-T2																																				
	対象 CPU	対象 CPU	以下のシーケンサ CPU ユニットで本 FB が使用可能です。																																				
シリーズ			モデル																																				
MELSEC-Q シリーズ※1			ベーシックモデル QCPU※2																																				
			ハイパフォーマンスモデル QCPU※3																																				
			ユニバーサルモデル QCPU																																				
MELSEC-L シリーズ	-																																						
		※1 QCPU-A(A モード)使用不可																																					
		※2 シリアル No.の上 5 桁が”04122”以降																																					
		※3 シリアル No.の上 5 桁が”04012”以降																																					
	GX Works2	Ver 1.09K 以降																																					

項目	内容
記述言語	ラダー
ステップ数	562Step(MELSEC-Q シリーズ・ユニバーサルモデルの場合) ※ プログラムに組み込んだFB のステップ数は、使用するCPU モデルや、入出力定義によって異なります。
機能説明	FB_EN(実行指令)の ON で、指定した CH に ISDU データを書き込みます。
FB コンパイル方式	マクロ型
制約事項、注意事項等	<p>① 本 FB は、エラーから復帰する処理を含んでいません。エラーから復帰する処理については、お客様のシステムや要求動作に合わせて、別途作成してください。</p> <p>② 割込みプログラム内では、本 FB を使用しないでください。</p> <p>③ 1 回しか実行されないプログラム(例えば、サブルーチンプログラムや FOR～NEXT)で本 FB を使用すると、FB_EN(実行命令)の OFF 処理を実行することができず正常な動作ができなくなるため、FB_EN(実行命令)の OFF を実行できるプログラムで使用してください。</p> <p>④ 本 FB ではインデックスレジスタ Z6～Z9 を使用しているため、割込みプログラムを使用する場合は、割込みプログラム内で該当インデックスレジスタを使用しないでください。</p> <p>⑤ 本 FB では、全ての入カレベルにおいて回路の設定が必要です。</p> <p>⑥ 本 FB では出力されず、防水タイプリモート IO-Link ユニットのユニット状態エリアに格納されるユニットエラーコードがあります。</p>
FB 動作	パルス実行型(複数スキャン実行型)
入出力信号の動き	<div> <div>【正常終了の場合】</div> </div> <div> <div>【異常終了の場合】</div> </div>
関連マニュアル	CC-Link IE フィールドネットワーク防水タイプリモート IO-Link ユニットユーザーズマニュアル

エラーコード

■エラーコード一覧

エラーコード	内容	処置方法
10 (16 進数)	リモート READY が ON 状態ではありません。	リモート READY を ON 状態にしてください。

その他のエラーコードについては「CC-Link IE フィールドネットワーク防水タイプリモート IO-Link ユニットユーザーズマニュアル」を参照してください。



## 使用ラベル

### ■入カラベル

名称	ラベル名	データ型	有効範囲	説明
実行命令	FB_EN	ビット	ON, OFF	ON:FB を起動する OFF:FB を起動しない
先頭 I/O No.	iw_StartIONo	ワード	0~FFFF (16 進数)	CC-Link IE フィールドネット ワークマスタ・ローカルユニット が装着されている先頭 I/O No.を 16 進数で指定します。
局番	iw_StationNo	ワード	1~78 (16 進数)	対象の防水タイプリモート IO-Link ユニットの局番を指 定します。
CHNo.	iw_CHNo	ワード	1~8 (16 進数)	ISDU データを書き込む CH を指定します。
インデックス	iw_Index	ワード	0~FFFF (16 進数)	書き込む ISDU データのイン デックス値を指定します。 インデックス値については、 接続している IO-Link デバイ スのマニュアルを参照してく ださい。
サブインデックス	iw_SubIndex	ワード	0~FF (16 進数)	書き込む ISDU データのサブ インデックス値を指定しま す。 サブインデックス値について は、接続している IO-Link デ バイスのマニュアルを参照し てください。
ISDU データ長	iw_ISDUDataLen	ワード	書き込む ISDU データにより ます。詳細は、接続している IO-Link デバイスのマニュアル を参照してください。	書き込む ISDU データの長さ (バイト単位)を指定してくだ さい。
ISDUデータ	iw_ISDUData	ワード	書き込む ISDU データにより ます。詳細は、接続している IO-Link デバイスのマニュアル を参照してください。	ISDU データに書き込む内容 を指定してください。

## ■出力ラベル

名称	ラベル名	データ型	初期値	説明
実行状態	FB_ENO	ビット	OFF	ON:実行命令 ON 中 OFF:実行命令 OFF
正常完了	FB_OK	ビット	OFF	ON:FB 正常完了 OFF:FB 未完了
エラー終了	FB_ERROR	ビット	OFF	ON:FB 異常完了 OFF:FB 未完了
エラーコード	ERROR_ID	ワード	0	発生したエラーコードを返します。

## FB のバージョンアップ履歴

バージョン	日付	内容
1.00A	2017/04/28	新規作成

## お願い

本章はファンクションブロックの機能を説明した資料です。

ユニットや CPU ユニットの使用上の制限事項, 組み合わせによる制限事項などについては記載されていません。

ご使用にあたりましては, 必ず対象製品のユーザーズマニュアルをお読みいただきますようお願い申し上げます。

2. 10 M+NZ2GF12A-60IOLH8\_WtDeviceValid (デバイス検証設定書込み)

名称

M+NZ2GF12A-60IOLH8\_WtDeviceValid

機能内容

項目	内容																																				
機能概要	指定 CH のデバイス検証の設定を行います。																																				
シンボル	<table><tr><td colspan="3">M+NZ2GF12A-60IOLH8_WtDeviceValid</td></tr><tr><td>実行指令</td><td>B : FB_EN</td><td>FB_ENO : B</td><td>実行状態</td></tr><tr><td>先頭I/ONo.</td><td>W : iw_StartIONo</td><td>FB_OK : B</td><td>正常完了</td></tr><tr><td>局番</td><td>W : iw_StationNo</td><td>FB_ERROR : B</td><td>異常完了</td></tr><tr><td>CHNo.</td><td>W : iw_CHNo</td><td>ERROR_ID : W</td><td>エラーコード</td></tr><tr><td>デバイス検証設定</td><td>W : iw_ValidConf</td><td></td><td></td></tr><tr><td>ベンダID</td><td>W : iw_VendorID</td><td></td><td></td></tr><tr><td>デバイスID</td><td>D : id_DeviceID</td><td></td><td></td></tr><tr><td>シリアルナンバー</td><td>D : id_SerialNo</td><td></td><td></td></tr></table>		M+NZ2GF12A-60IOLH8_WtDeviceValid			実行指令	B : FB_EN	FB_ENO : B	実行状態	先頭I/ONo.	W : iw_StartIONo	FB_OK : B	正常完了	局番	W : iw_StationNo	FB_ERROR : B	異常完了	CHNo.	W : iw_CHNo	ERROR_ID : W	エラーコード	デバイス検証設定	W : iw_ValidConf			ベンダID	W : iw_VendorID			デバイスID	D : id_DeviceID			シリアルナンバー	D : id_SerialNo		
M+NZ2GF12A-60IOLH8_WtDeviceValid																																					
実行指令	B : FB_EN	FB_ENO : B	実行状態																																		
先頭I/ONo.	W : iw_StartIONo	FB_OK : B	正常完了																																		
局番	W : iw_StationNo	FB_ERROR : B	異常完了																																		
CHNo.	W : iw_CHNo	ERROR_ID : W	エラーコード																																		
デバイス検証設定	W : iw_ValidConf																																				
ベンダID	W : iw_VendorID																																				
デバイスID	D : id_DeviceID																																				
シリアルナンバー	D : id_SerialNo																																				
対象機器	対象 CC-Link IE フィールドネットワークマスター・ローカルユニット	以下のユニットが使用可能です。																																			
		シリーズ	モデル																																		
		MELSEC-Q シリーズ	QJ71GF11-T2																																		
		MELSEC-L シリーズ	LJ71GF11-T2																																		
	対象 CPU	対象 CPU	以下のシーケンサ CPU ユニットで本 FB が使用可能です。																																		
シリーズ			モデル																																		
MELSEC-Q シリーズ※1			ベーシックモデル QCPU※2																																		
			ハイパフォーマンスモデル QCPU※3																																		
			ユニバーサルモデル QCPU																																		
MELSEC-L シリーズ		-																																			
	※1 QCPU-A(A モード)使用不可 ※2 シリアル No.の上 5 桁が”04122”以降 ※3 シリアル No.の上 5 桁が”04012”以降																																				
GX Works2	Ver 1.09K 以降																																				
記述言語	ラダー																																				

項目	内容
ステップ数	553Step(MELSEC-Q シリーズ・ユニバーサルモデルの場合) ※ プログラムに組み込んだFBのステップ数は、使用するCPUモデルや、入出力定義によって異なります。
機能説明	FB_EN(実行指令)の ON で、指定した CH のデバイスデバイス検証設定を設定します。
FB コンパイル方式	マクロ型
制約事項, 注意事項等	<p>① 本FBは、エラーから復帰する処理を含んでいません。エラーから復帰する処理については、お客様のシステムや要求動作に合わせて、別途作成してください。</p> <p>② 割込みプログラム内では、本FBを使用しないでください。</p> <p>③ 1 回しか実行されないプログラム(例えば、サブルーチンプログラムや FOR～NEXT)で本FBを使用すると、FB_EN(実行命令)の OFF 処理を実行することができず正常な動作ができなくなるため、FB_EN(実行命令)の OFF を実行できるプログラムで使用してください。</p> <p>④ 本FBではインデックスレジスタ Z6～Z9 を使用しているため、割込みプログラムを使用する場合は、割込みプログラム内で該当インデックスレジスタを使用しないでください。</p> <p>⑤ 本FBでは、全ての入カラベルにおいて回路の設定が必要です。</p> <p>⑥ 本FBでは出力されず、防水タイプリモート IO-Link ユニットのユニット状態エリアに格納されるユニットエラーコードがあります。</p> <p>⑦ 本FB実行後、設定を反映させるために動作条件設定要求フラグを ON する必要があります。設定を反映させるためのプログラムを別途作成してください。</p> <p>⑧ 動作条件設定要求フラグは本FB実行完了後、500ms 経過後に ON してください。</p>
FB 動作	パルス実行型(複数スキャン実行型)
入出力信号の動き	<div> <div>【正常終了の場合】</div> </div> <div> <div>【異常終了の場合】</div> </div>
関連マニュアル	CC-Link IE フィールドネットワーク防水タイプリモート IO-Link ユニットユーザーズマニュアル

## エラーコード

### ■エラーコード一覧

エラーコード	内容	処置方法
10 (16 進数)	リモート READY が ON 状態ではありません。	リモート READY を ON 状態にしてください。

その他のエラーコードについては「CC-Link IE フィールドネットワーク防水タイプリモート IO-Link ユニットユーザズマニュアル」を参照してください。

## 使用ラベル

### ■入カラベル

名称	ラベル名	データ型	有効範囲	説明
実行命令	FB_EN	ビット	ON, OFF	ON:FB を起動する OFF:FB を起動しない
先頭 I/O No.	iw_StartIONo	ワード	0~FFFF (16 進数)	CC-Link IE フィールドネットワークマスタ・ローカルユニットが装着されている先頭 I/O No.を 16 進数で指定します。
局番	iw_StationNo	ワード	1~78 (16 進数)	対象の防水タイプリモート IO-Link ユニットの局番を指定します。
CHNo.	iw_CHNo	ワード	1~8 (16 進数)	デバイス検証設定を設定する CH を指定します。
デバイス検証設定	iw_ValidConf	ワード	0~2 (16 進数)	デバイス検証設定を指定します。 H00:無効 H01:互換性検証 H02:同一性検証
ベンダ ID	iw_VendorID	ワード	0~FFFF (16 進数)	接続している IO-Link デバイスと比較するベンダ ID を指定します。 指定方法の詳細は「付録 1.7 デバイス検証設定」を参照してください。
デバイス ID	id_DeviceID	ダブルワード	0~00FFFFFF (16 進数)	接続している IO-Link デバイスと比較するデバイス ID を指定します。 指定方法の詳細は「付録 1.7 デバイス検証設定」を参照してください。



名称	ラベル名	データ型	有効範囲	説明
シリアルナンバー	id_SerialNo	ダブルワード	-	接続している IO-Link デバイスと比較するシリアルナンバーが格納されているエリアの先頭デバイスを指定します。指定方法の詳細は「付録 1.7 デバイス検証設定」を参照してください。

#### ■出力ラベル

名称	ラベル名	データ型	初期値	説明
実行状態	FB_ENO	ビット	OFF	ON: 実行命令 ON 中 OFF: 実行命令 OFF
正常完了	FB_OK	ビット	OFF	ON: FB 正常完了 OFF: FB 未完了
エラー終了	FB_ERROR	ビット	OFF	ON: FB 異常完了 OFF: FB 未完了
エラーコード	ERROR_ID	ワード	0	発生したエラーコードを返します。

#### FB のバージョンアップ履歴

バージョン	日付	内容
1.00A	2017/04/28	新規作成

#### お願い

本章はファンクションブロックの機能を説明した資料です。

ユニットや CPU ユニットの使用上の制限事項, 組み合わせによる制限事項などについては記載されていません。

ご使用にあたりましては, 必ず対象製品のユーザーズマニュアルをお読みいただきますようお願い申し上げます。

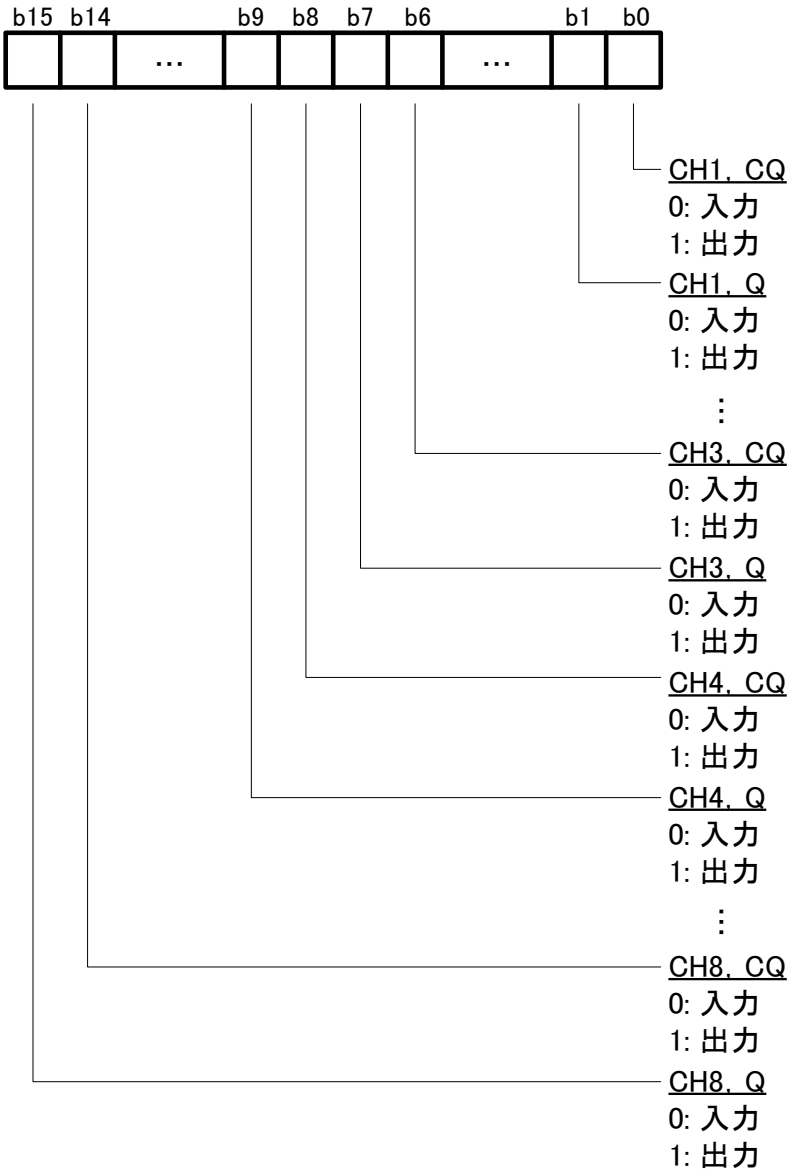
付録1. パラメータ設定方法

FB ライブラリで指定するパラメータの設定方法について記載します。

付録1.1. 入出力切替え指令

各 CH の Q/CQ に対し, 入力又は出力を指定します。

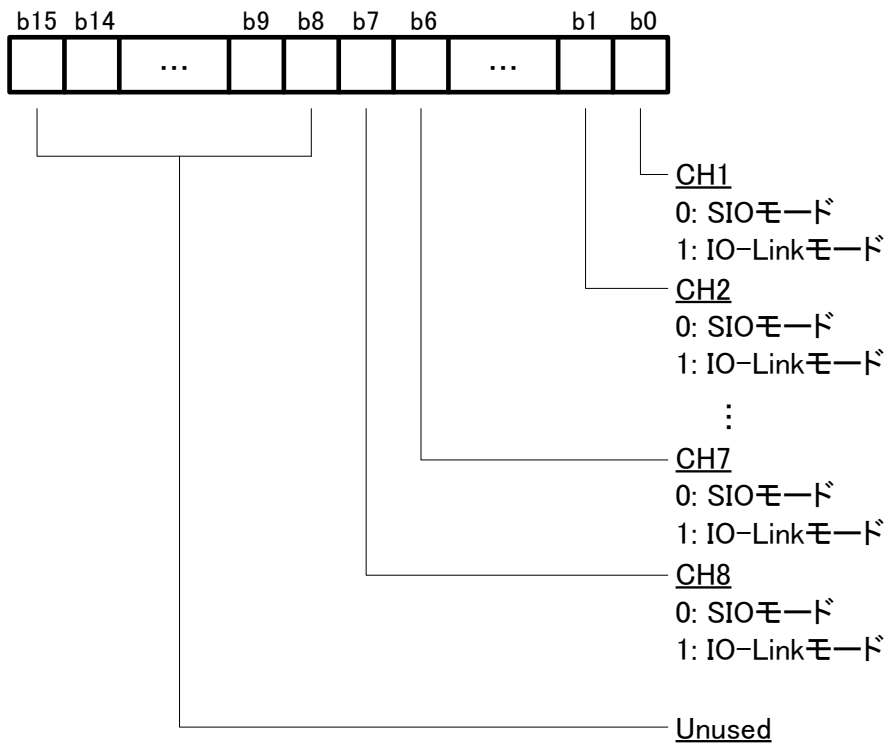
下図に各ビットと, 対応する CH 及び Q/CQ を示します。



付録1.2. モード切替え指令

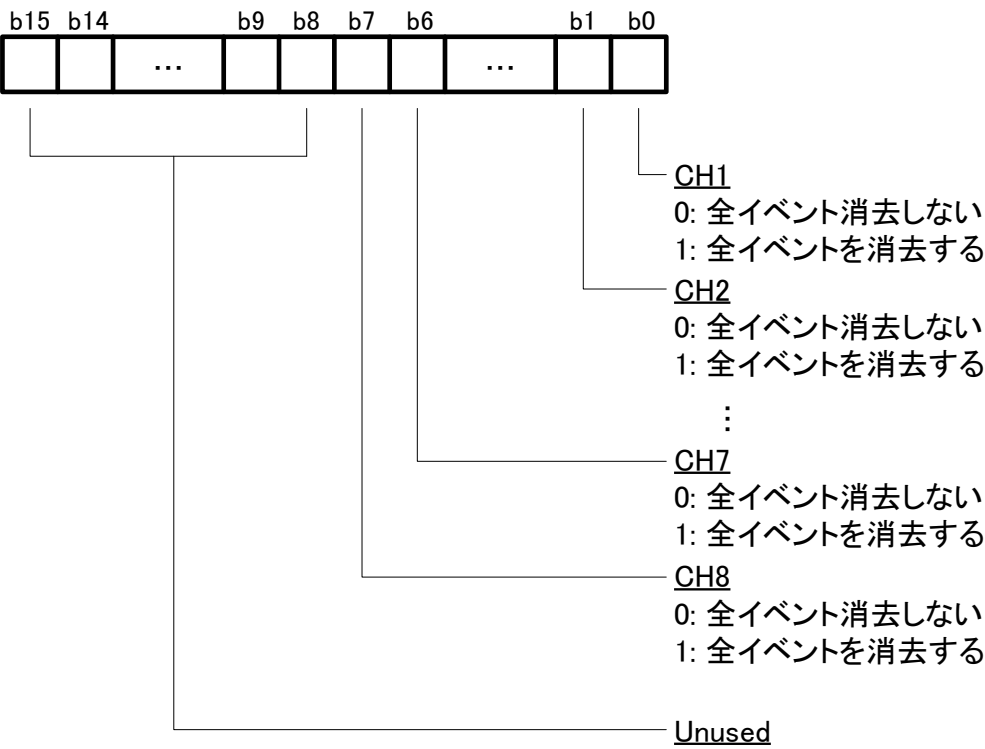
各 CH のモードを指定します。

下図に各ビットと, 対応する CH を示します。



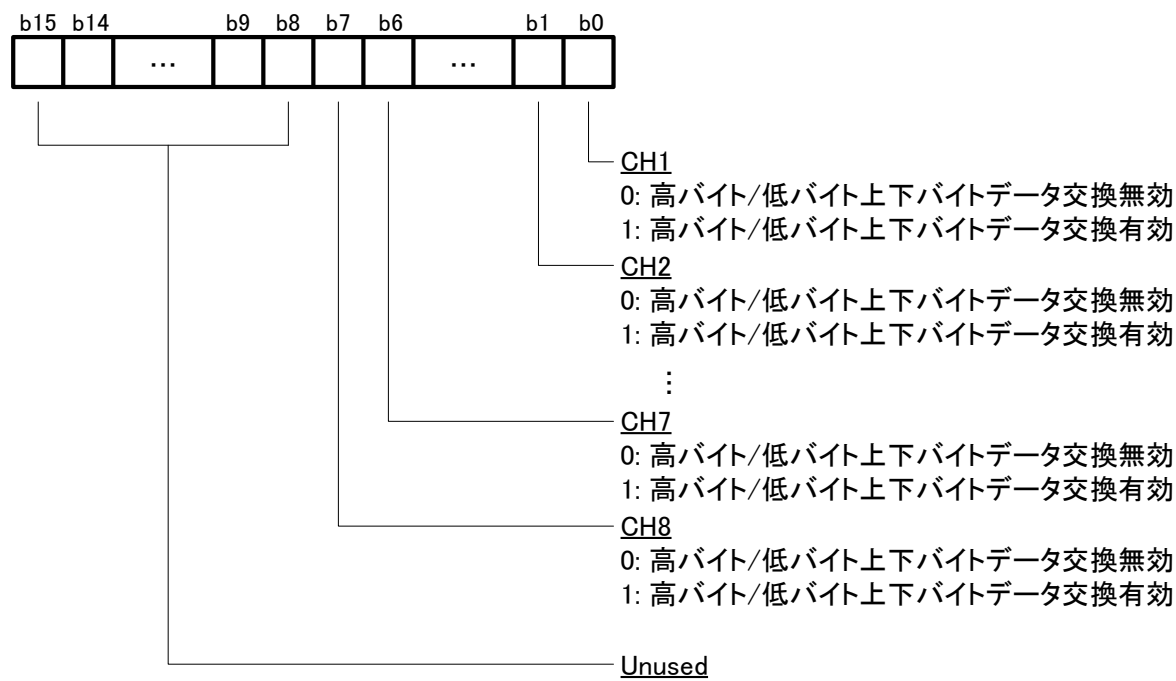
付録1.3. イベント削除設定

各 CH で発生したイベントを消去するかを指定します。  
下図に各ビットと, 対応する CH を示します。



付録1.4. 上下バイトデータ交換設定

各 CH の上下バイトデータ交換設定を指定します。  
下図に各ビットと, 対応する CH を示します。



付録1.5. プロセスデータサイズ設定

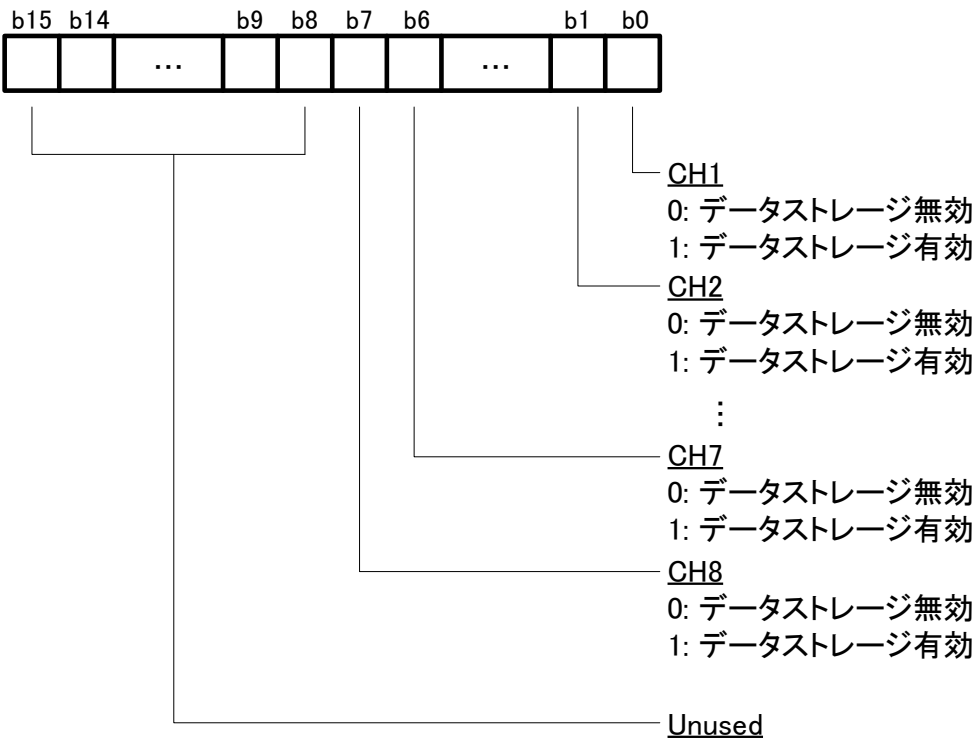
連続する 8 ワード分のデバイスに、各 CH に設定するプロセスデータサイズを指定します。  
下図のように各 CH のプロセスデータサイズを指定してください。

(先頭デバイス)+0	CH1 プロセスデータサイズ
(先頭デバイス)+1	CH2 プロセスデータサイズ
(先頭デバイス)+2	CH3 プロセスデータサイズ
(先頭デバイス)+3	CH4 プロセスデータサイズ
(先頭デバイス)+4	CH5 プロセスデータサイズ
(先頭デバイス)+5	CH6 プロセスデータサイズ
(先頭デバイス)+6	CH7 プロセスデータサイズ
(先頭デバイス)+7	CH8 プロセスデータサイズ

付録1.6. データストレージ設定

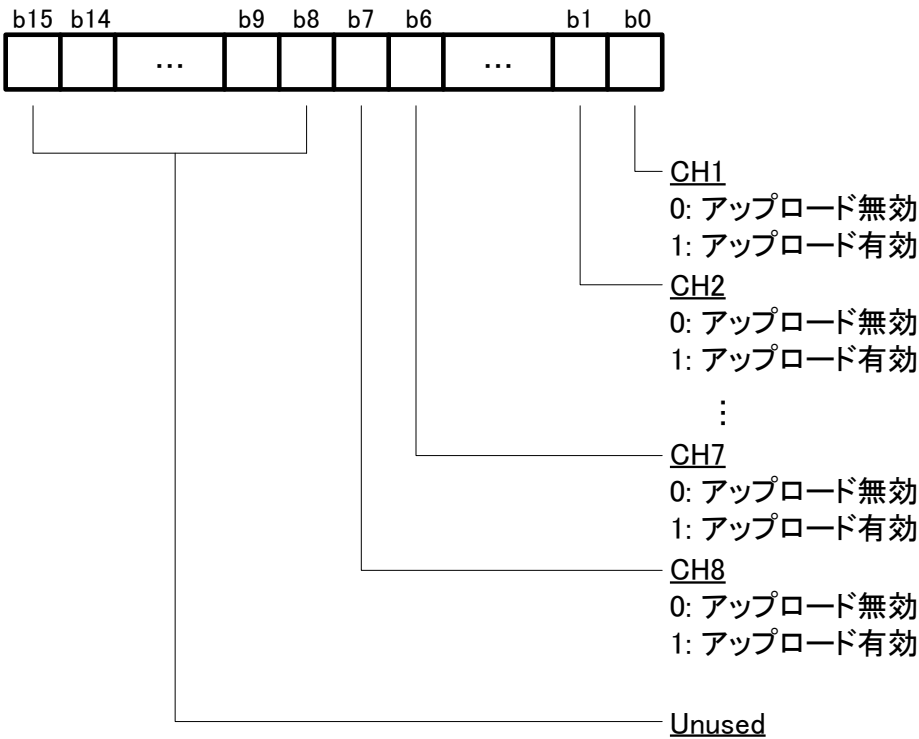
(1)データストレージ有効設定

各 CH のデータストレージ有効/無効を指定します。  
下図に各ビットと、対応する CH を示します。



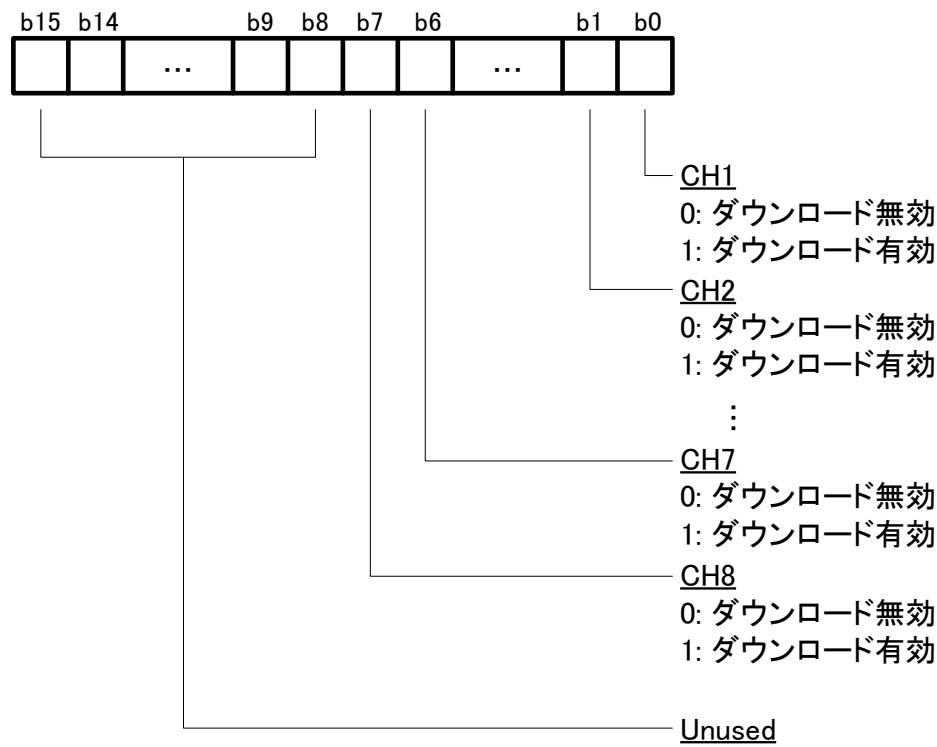
(2)アップロード設定

各 CH のデータストレージアップロード設定を指定します。  
下図に各ビットと, 対応する CH を示します。



(3)ダウンロード設定

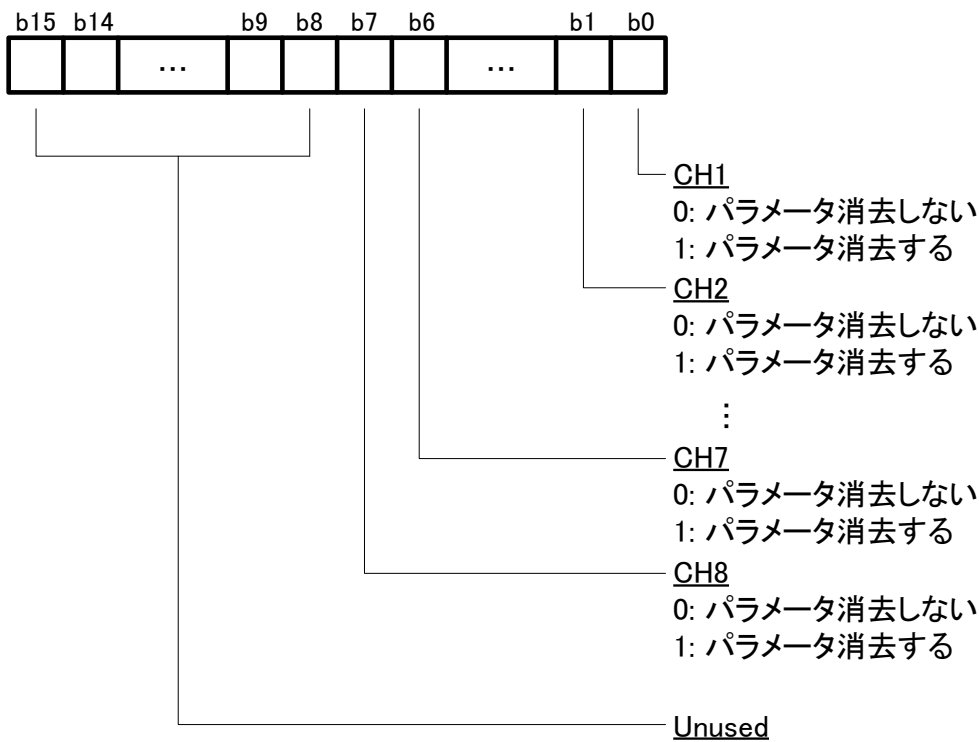
各 CH のデータストレージダウンロード設定を指定します。  
下図に各ビットと, 対応する CH を示します。





(4)データストレージ消去設定

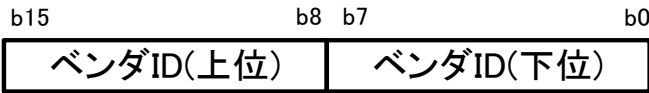
各 CH のデータストレージのパラメータを消去するかを指定します。  
下図に各ビットと, 対応する CH を示します。



付録1.7. デバイス検証設定

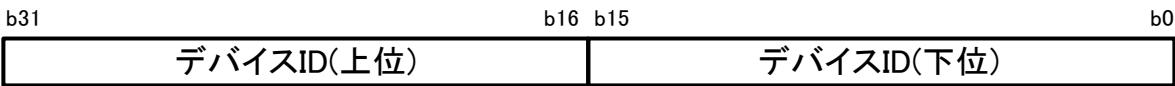
(1)ベンダ ID

デバイス検証で設定するベンダ ID を指定します。  
下図のようにベンダ ID を指定してください。



(2)デバイス ID

デバイス検証で設定するデバイス ID を指定します。  
下図のようにデバイス ID を指定してください。



(3)シリアルナンバー

デバイス検証で設定するシリアルナンバーを指定します。  
下図のようにシリアルナンバーを指定してください。

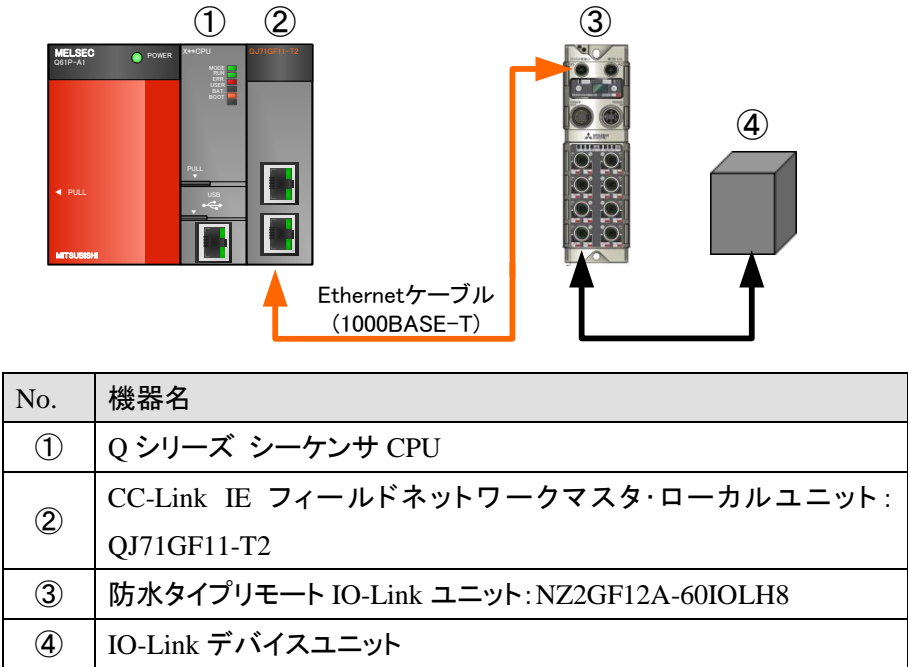
	b31	b16 b15		b0
(先頭デバイス)+0	シリアルナンバー4	シリアルナンバー3	シリアルナンバー2	シリアルナンバー1
(先頭デバイス)+1	シリアルナンバー8	シリアルナンバー7	シリアルナンバー6	シリアルナンバー5
(先頭デバイス)+2	シリアルナンバー12	シリアルナンバー11	シリアルナンバー10	シリアルナンバー9
(先頭デバイス)+3	シリアルナンバー16	シリアルナンバー15	シリアルナンバー14	シリアルナンバー13

付録2. FB ライブラリ使用例

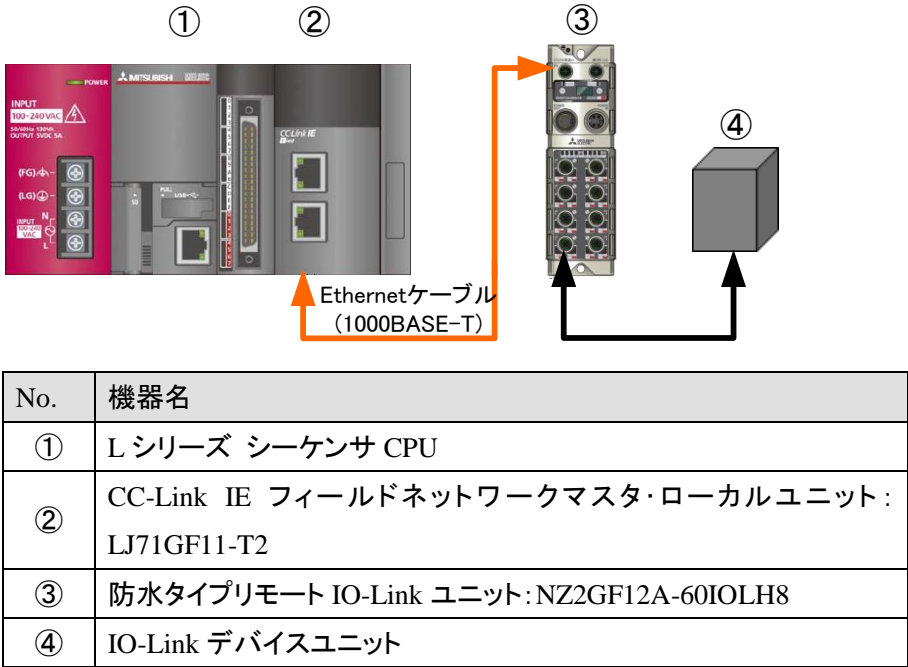
防水タイプリモート IO-Link ユニット用 FB の使用例を以下に示します。

システム構成

(1)Q シリーズのシステム構成



(2)L シリーズのシステム構成



注意点

- 全ての入カラベルにおいて回路の設定が必要です。設定しない場合、不定値となります。
- ラベルコメントは、GX Works2 の表示可能文字数の関係により省略形で記載していることがあります。

## QJ71GF11-T2(LJ71GF11-T2)の設定と NZ2GF12A-60IOLH8 の設定について

QJ71GF11-T2(LJ71GF11-T2)及び NZ2GF12A-60IOLH8 の設定については「1. 4CC-Link IE フィールドネットワークマスター・ローカルユニットの設定」及び「1. 5NZ2GF12A-60IOLH8 の通信設定」を参照してください。

### デバイス使用一覧

#### ■外部入力(指令)

デバイス	FB 名称	用途(ON 時の内容)
M0	M+NZ2GF12A-60IOLH8_CCIEFIOAdv	アドバンス設定 FB 実行
D200 ~ D207		各 CH のプロセスデータサイズが格納されているデバイスエリアの先頭デバイス
M10		イベントデータ読出し FB 実行
M20	M+NZ2GF12A-60IOLH8_RdIdtData	ゲートウェイ識別データ読出しFB実行
M30	M+NZ2GF12A-60IOLH8_RdInitOprSet	イニシャル動作設定読出し FB 実行
M40	M+NZ2GF12A-60IOLH8_RdISDUData	ISDU データ読出し FB 実行
M50	M+NZ2GF12A-60IOLH8_RdStrData	ストレージデータ読出し FB 実行
M60	M+NZ2GF12A-60IOLH8_WtDataStrSet	データストレージ設定書込み FB 実行
M70	M+NZ2GF12A-60IOLH8_WtInitOprSet	イニシャル動作設定書込み FB 実行
M73		イニシャル動作あり
M80	M+NZ2GF12A-60IOLH8_WtISDUData	ISDU データ書込み FB 実行
M90	M+NZ2GF12A-60IOLH8_WtDeviceValid	デバイス検証設定書込み FB 実行
D91~D98.		シリアルナンバー

#### ■外部出力(確認)

デバイス	FB 名称	用途(ON 時の内容)
M1	M+NZ2GF12A-60IOLH8_CCIEFIOAdv	アドバンス設定 FB 実行中
M2		アドバンス設定 FB 正常完了
F0		アドバンス設定 FB 異常完了
D0		異常完了時, エラーコードを格納
D1		リモート出力デバイスへ格納する値の先頭デバイスを格納
M3		エラー状態フラグが ON
M4		リモート READY が ON
M11	M+NZ2GF12A-60IOLH8_RdEventData	イベントデータ読出し FB 実行中
M12		イベントデータ読出し FB 正常完了
F10		イベントデータ読出し FB 異常完了
D10		異常完了時, エラーコードを格納
D11		読み出したイベント識別子を格納
D12		読み出したイベントコードを格納



デバイス	FB 名称	用途(ON 時の内容)
M21	M+NZ2GF12A-60IOLH8_RdIdtData	ゲートウェイ識別データ読出し FB 実行中
M22		ゲートウェイ識別データ読出し FB 正常完了
F20		ゲートウェイ識別データ読出し FB 異常完了
D20		異常完了時, エラーコードを格納
D21～D28		読み出したゲートウェイ識別データを格納
M31	M+NZ2GF12A-60IOLH8_RdInitOprSet	イニシャル動作設定読出し FB 実行中
M32		イニシャル動作設定読出し FB 正常完了
F30		イニシャル動作設定読出し FB 異常完了
D30		異常完了時, エラーコードを格納
M33		イニシャル動作あり
M41	M+NZ2GF12A-60IOLH8_RdISDUData	ISDU データ読出し FB 実行中
M42		ISDU データ読出し FB 正常完了
F40		ISDU データ読出し FB 異常完了
D40		異常完了時, エラーコードを格納
D300～		読み出した ISDU データを格納
M51	M+NZ2GF12A-60IOLH8_RdStrData	ストレージデータ読出し FB 実行中
M52		ストレージデータ読出し FB 正常完了
F50		ストレージデータ読出し FB 異常完了
D50		異常完了時, エラーコードを格納
D51		読み出したストレージデータを格納
M61	M+NZ2GF12A-60IOLH8_WtDataStrSet	データストレージ設定書込み FB 実行中
M62		データストレージ設定書込み FB 正常完了
F60		データストレージ設定書込み FB 異常完了
D60		異常完了時, エラーコードを格納
M71	M+NZ2GF12A-60IOLH8_WtInitOprSet	イニシャル動作設定書込み FB 実行中
M72		イニシャル動作設定書込み FB 正常完了
F70		イニシャル動作設定書込み FB 異常完了
D70		異常完了時, エラーコードを格納
M81	M+NZ2GF12A-60IOLH8_WtISDUData	ISDU データ書込み FB 実行中
M82		ISDU データ書込み FB 正常完了
F80		ISDU データ書込み FB 異常完了
D80		異常完了時, エラーコードを格納
M91	M+NZ2GF12A-60IOLH8_WtDeviceValid	デバイス検証設定書込み FB 実行中
M92		デバイス検証設定書込み FB 正常完了
F90		デバイス検証設定書込み FB 異常完了
D90		異常完了時, エラーコードを格納

使用例 設定

■ 共通設定

入出力項目	値	説明
先頭 I/O No.	H0	通信を行う CC-Link IE フィールドネットワークマスタ・ローカルユニットの先頭 I/O No.に H0000 を指定します。
局番.	K1	対象の局番に 1 を指定します。

## プログラム

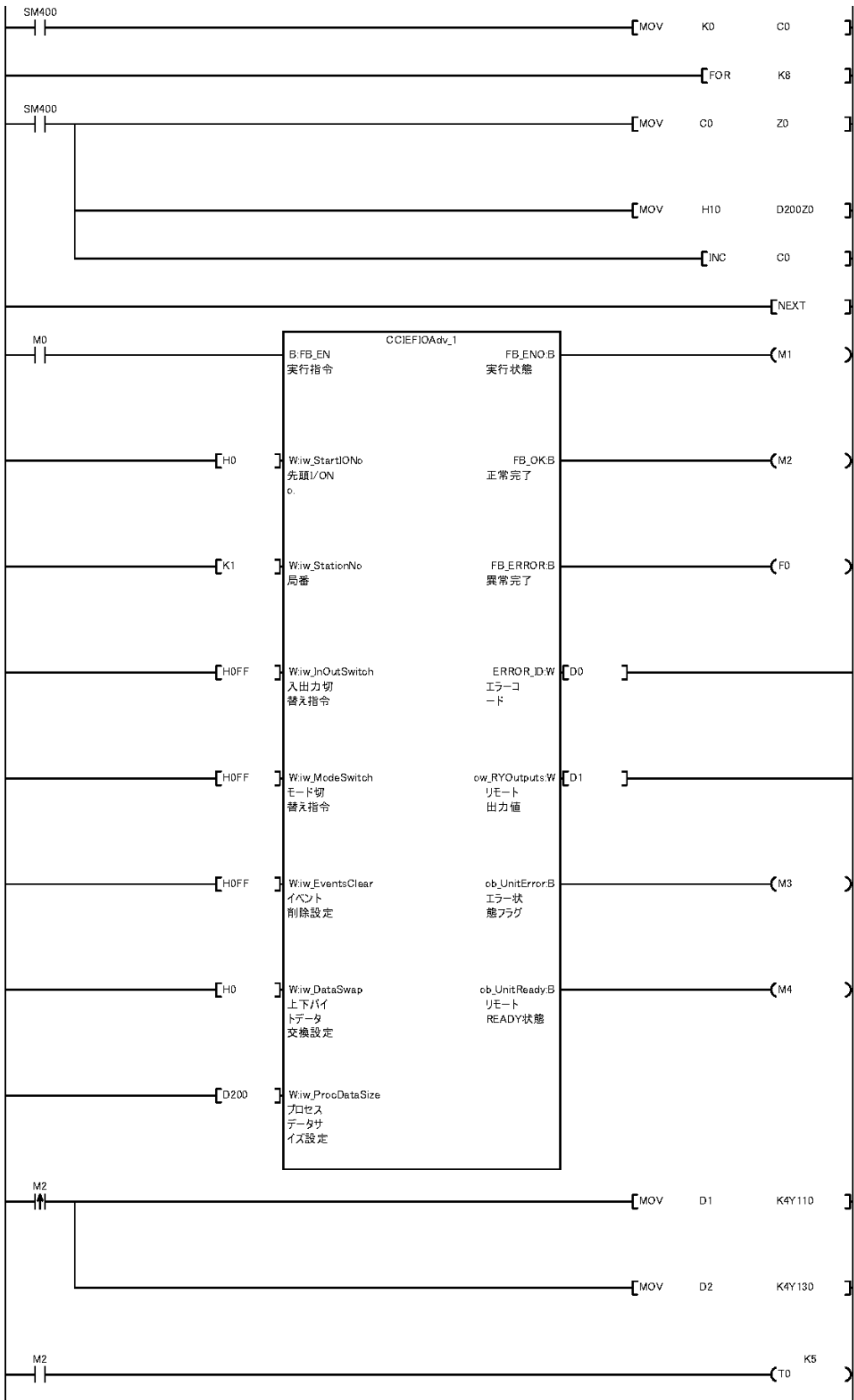
M+NZ2GF12A-60IOLH8\_CCIEFIOAdv (アドバンス設定)

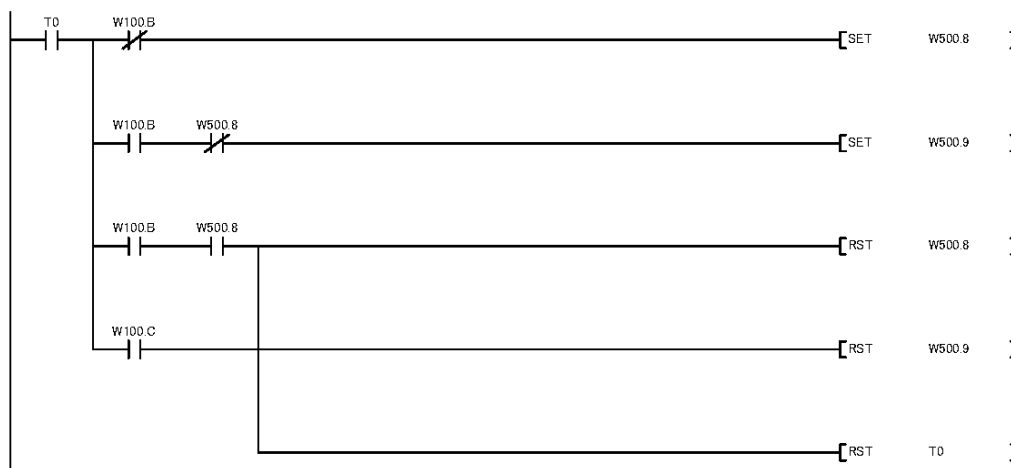
次の条件のプログラム例を下記に示します。

ラベル名	設定値	内容
iw_InOutSwitch	HFF	CH1～4 の Q/CQ に出力, CH5～8 の Q/CQ に入力を指定します。
iw_ActivateIO	HFF	全ての CH を IO-Link モードに指定します。
iw_EventClear	HFF	全ての CH のイベントを消去します。
iw_DataSwap	H0	全ての CH の高バイト/低バイト上下バイトデータ交換を無効に指定します。
iw_ProcDataSize	H10(CH1)	CH1 のプロセスデータサイズに 16 ワードを指定します。
	H10(CH2)	CH2 のプロセスデータサイズに 16 ワードを指定します。
	H10(CH3)	CH3 のプロセスデータサイズに 16 ワードを指定します。
	H10(CH4)	CH4 のプロセスデータサイズに 16 ワードを指定します。
	H10(CH5)	CH5 のプロセスデータサイズに 16 ワードを指定します。
	H10(CH6)	CH6 のプロセスデータサイズに 16 ワードを指定します。
	H10(CH7)	CH7 のプロセスデータサイズに 16 ワードを指定します。
	H10(CH8)	CH8 のプロセスデータサイズに 16 ワードを指定します。



M0 を ON にすると、プロセスデータサイズを設定し、リモート出力デバイスに設定する値を出力します。出力した値は、FB 正常完了後にリモート出力デバイスに格納されます。



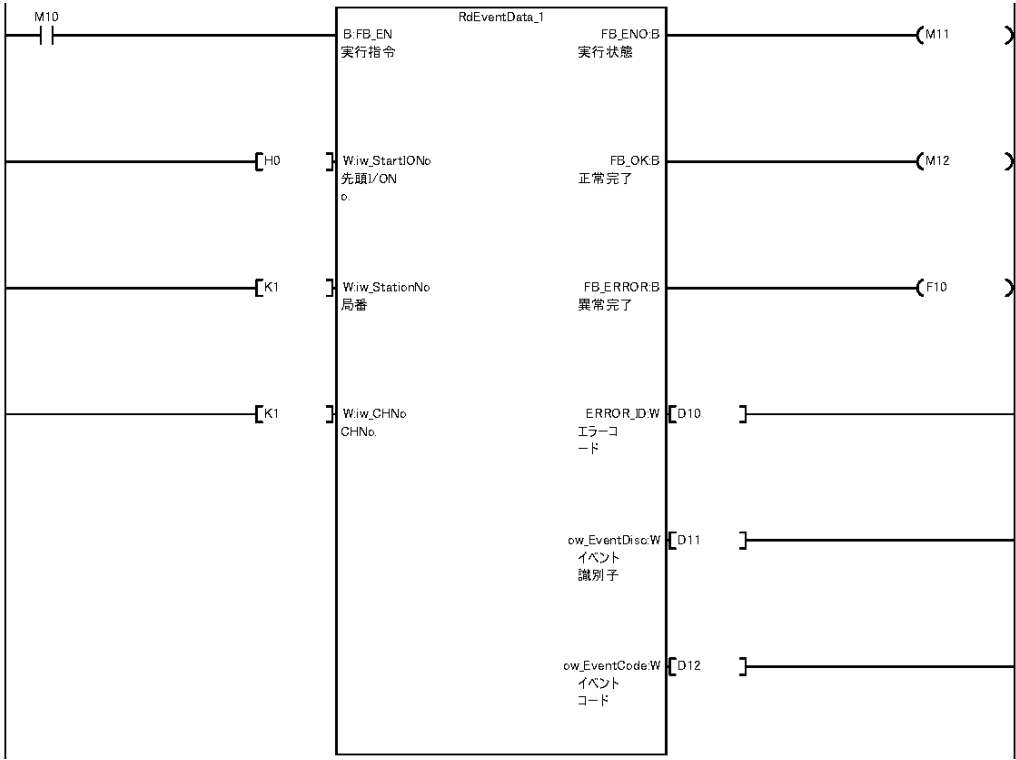


M+NZ2GF12A-60IOLH8\_RdEventData (イベントデータ読出し)

次の条件のプログラム例を下記に示します。

ラベル名	設定値	内容
iw_CHNo	K1	対象の CH に CH1 を指定します。

M10 を ON にすると、イベントデータを読み出します。

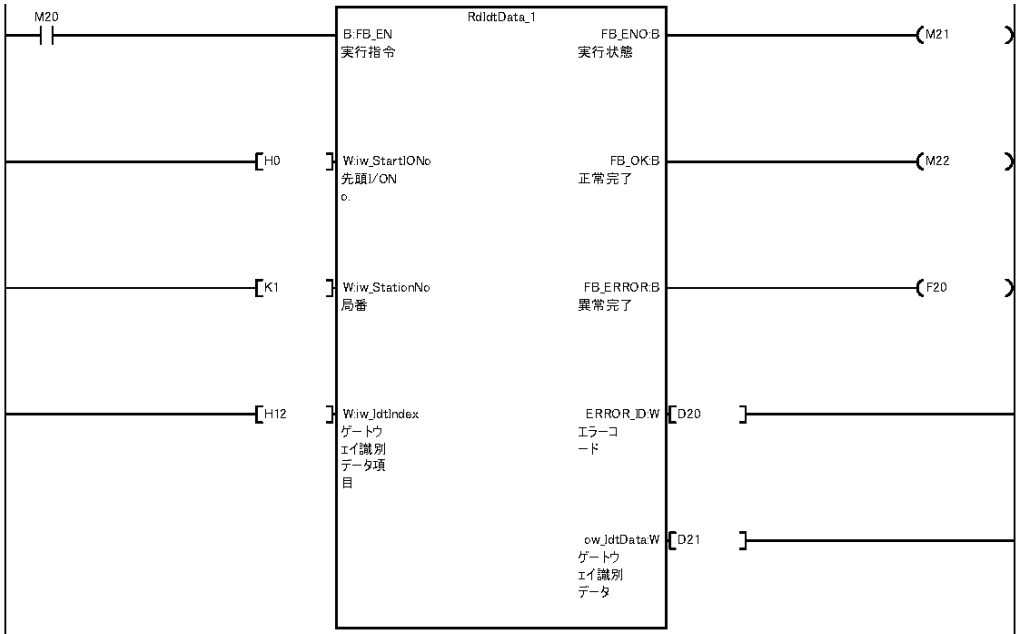


M+NZ2GF12A-60IOLH8\_RdIdtData (ゲートウェイ識別データ読出し)

次の条件のプログラム例を下記に示します。

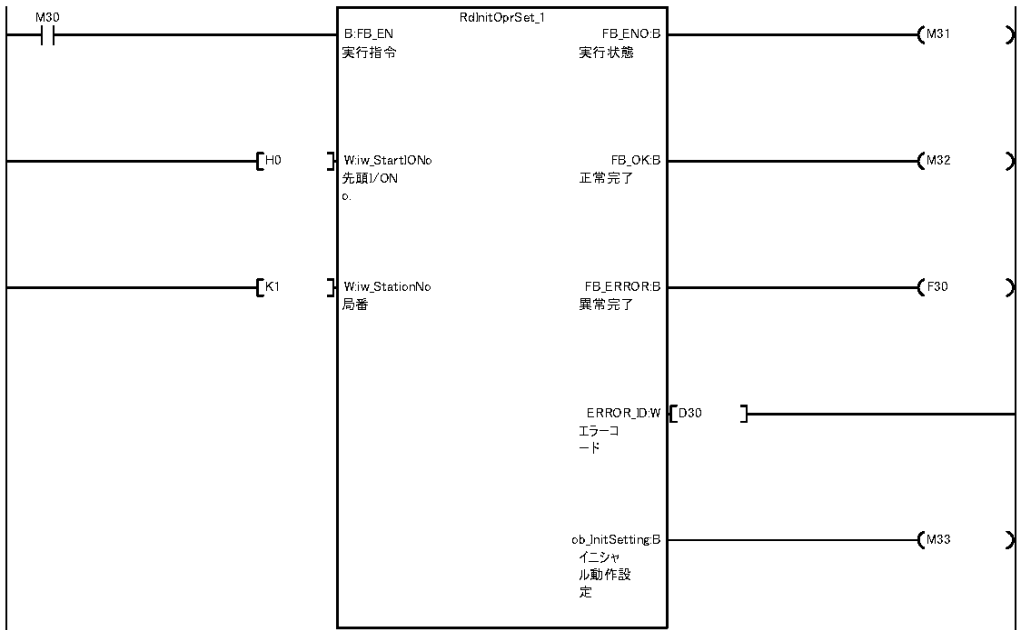
ラベル名	設定値	内容
iw_IdtIndex	H12	読み出すゲートウェイ識別データに H12 を指定します。

M20 を ON にすると、ゲートウェイ識別データから製品名(H12)を読み出し、読み出した値を D21 以降のデバイスに格納します。



M+NZ2GF12A-60IOLH8\_RdInitOprSet (イニシャル動作設定読出し)

M30 を ON にすると, イニシャル動作設定を読み出します。

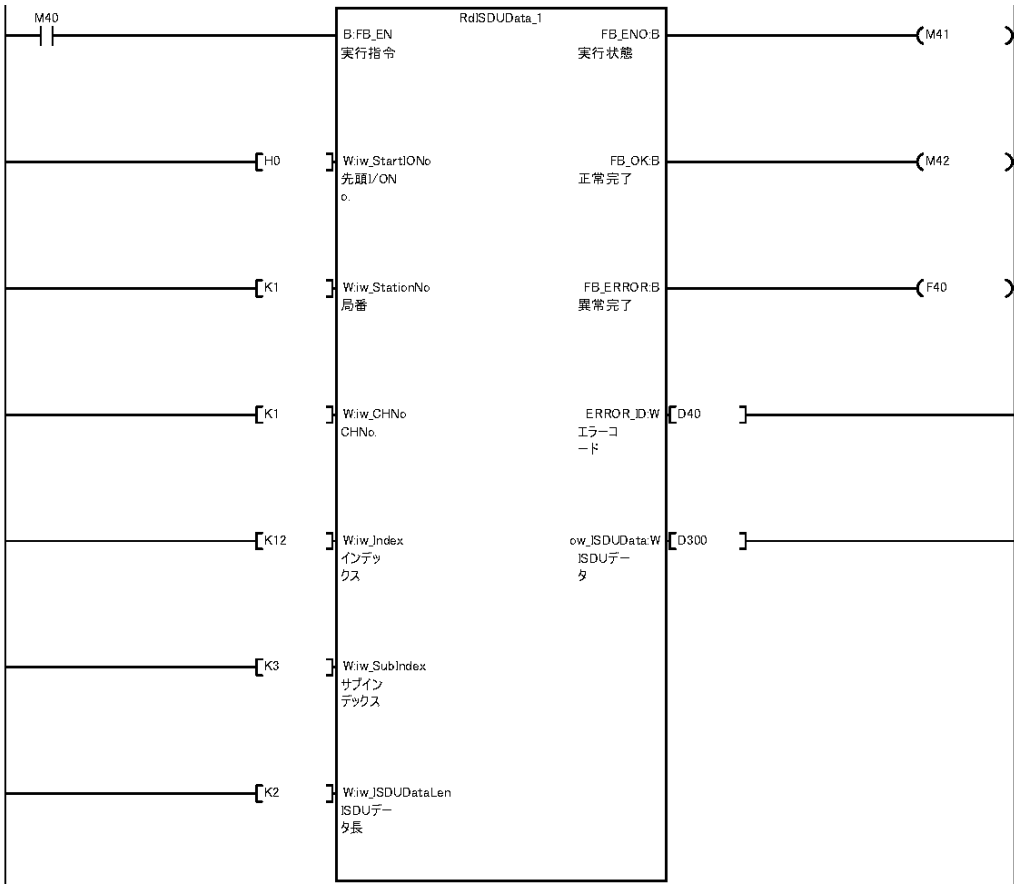


M+NZ2GF12A-60IOLH8\_RdISDUData (ISDU データ読出し)

次の条件のプログラム例を下記に示します。

ラベル名	設定値	内容
iw_CHNo	K1	対象の CH に CH1 を指定します。
iw_Index	K12	読み出すインデックス値に 16 を指定します。
iw_SubIndex	K3	読み出すサブインデックス値に 0 を指定します。
iw_ISDUDataLen	K2	読み出す ISDU データの長さに 2 バイトを指定します。

M40 を ON にすると、指定した ISDU(インデックス:12, サブインデックス:3)からデータを読み出し、読み出した値を D300 以降のデバイスに格納します。

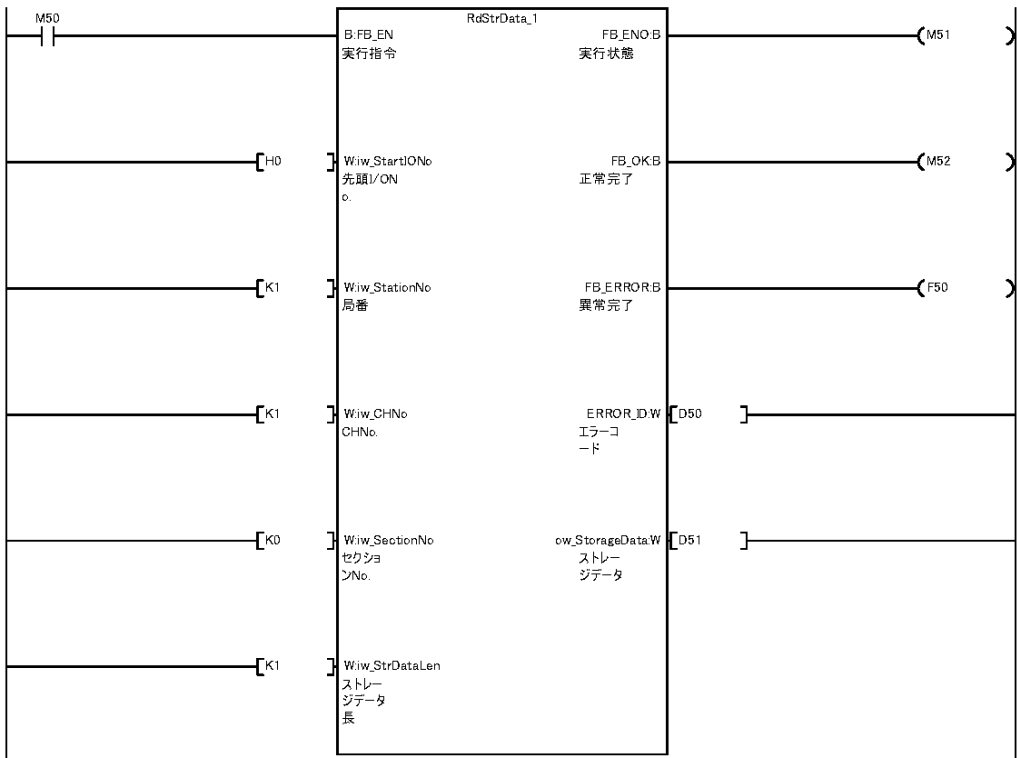


M+NZ2GF12A-60IOLH8\_RdStrData (ストレージデータ読出し)

次の条件のプログラム例を下記に示します。

ラベル名	設定値	内容
iw_CHNo	K1	対象の CH に CH1 を指定します。
iw_SectionNo	K0	読み出すストレージのセクション No.に No.0 を指定します。
iw_StrDataLen	K1	読み出すデータの長さに 1 ワードを指定します。

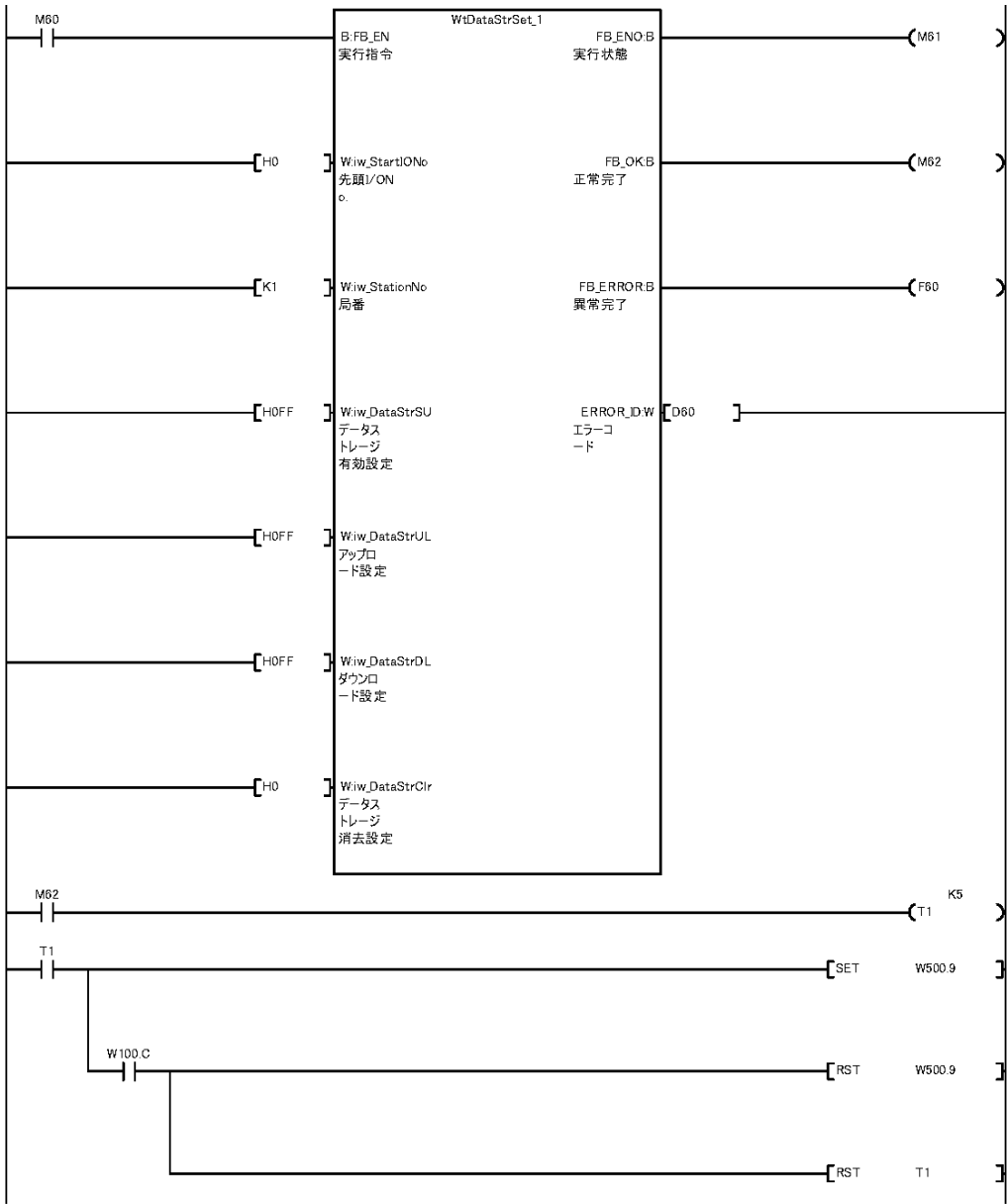
M50 を ON にすると、データストレージのセクション No.0 から 1 ワード分のデータを読み出します。



次の条件のプログラム例を下記に示します。

ラベル名	設定値	内容
iw_DataStrSU	HFF	全ての CH のデータストレージを有効に指定します。
iw_DataStrUL	HFF	全ての CH のデータアップロードを有効に指定します。
iw_DataStrDL	HFF	全ての CH のデータダウンロードを有効に指定します。
iw_DataStrClr	H0	全ての CH のデータストレージ消去を無効に指定します。

M60 を ON にすると、指定した設定値を各 CH に反映します。



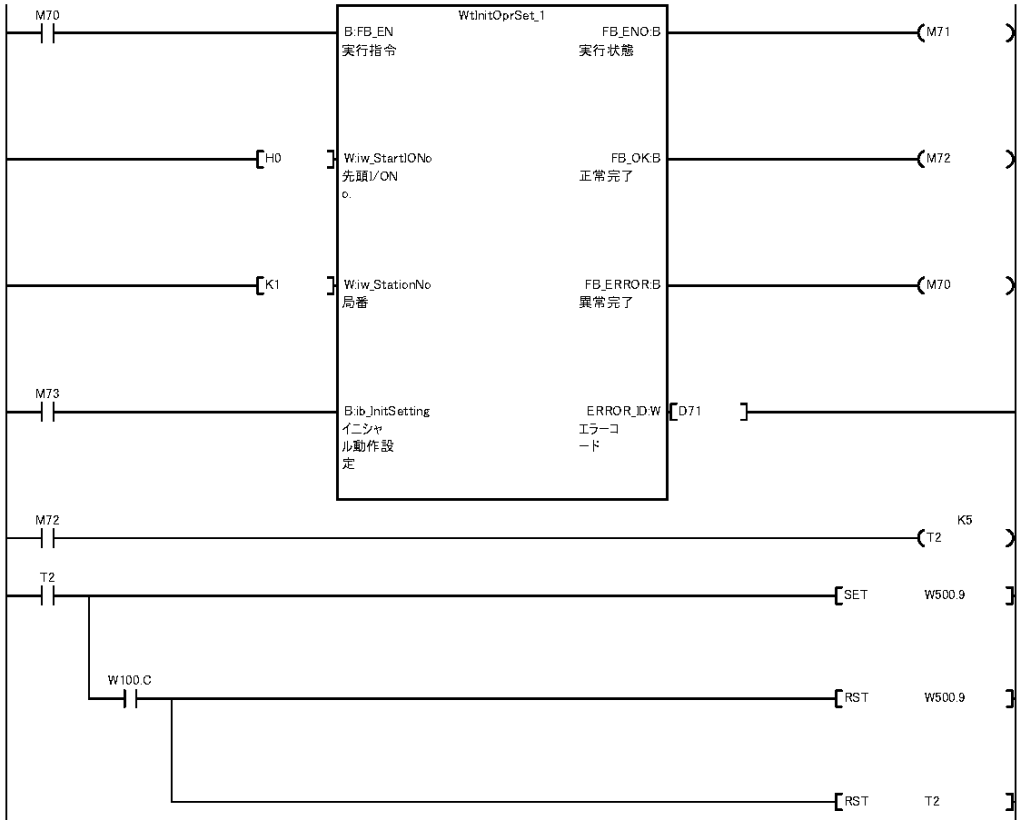


M+NZ2GF12A-60IOLH8\_WtInitOprSet (イニシャル動作設定書込み)

次の条件のプログラム例を下記に示します。

ラベル名	設定値	内容
ib_InitSetting	ON	「イニシャル動作設定なし」を指定します。

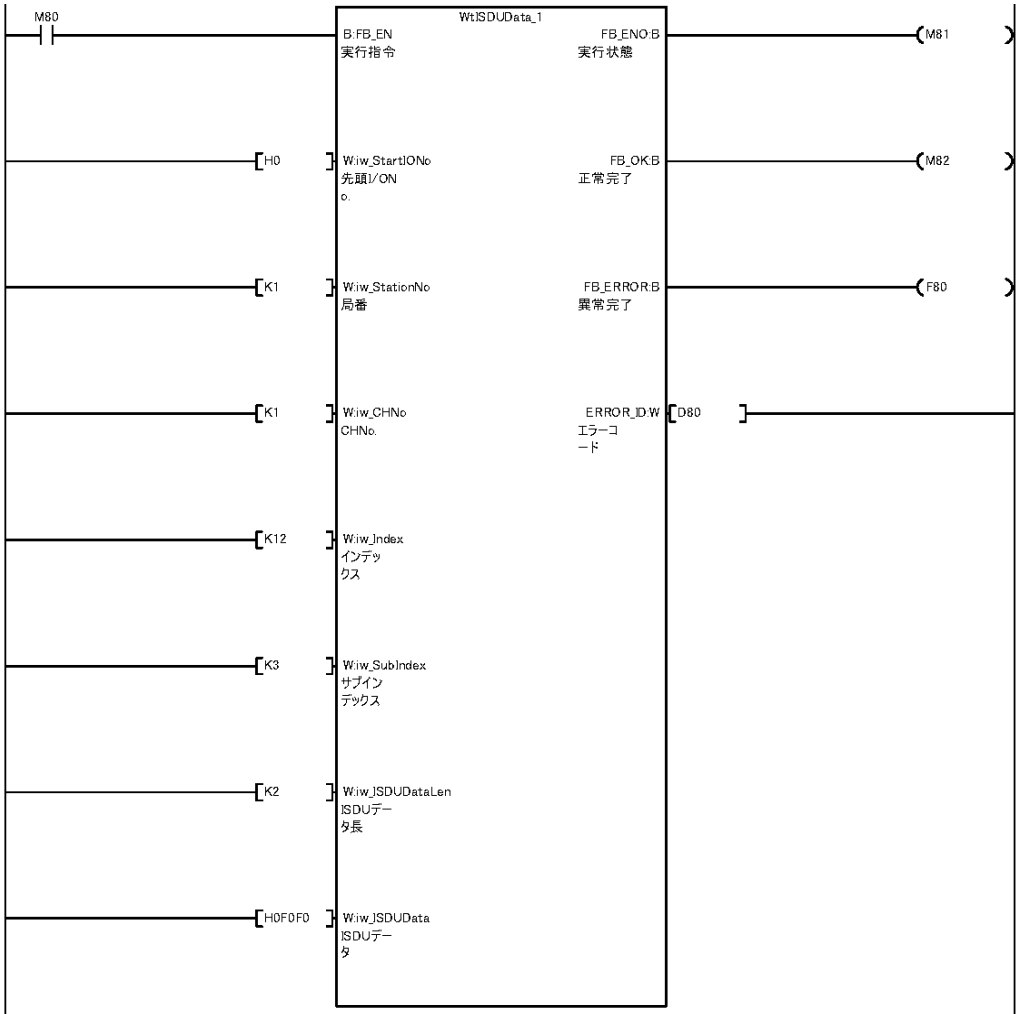
M70 を ON にすると、イニシャル動作設定を「イニシャル動作設定なし」に設定します。



次の条件のプログラム例を下記に示します。

ラベル名	設定値	内容
iw_CHNo	K1	対象の CH に CH1 を指定します。
iw_Index	K12	書き込むインデックス値に 24 を指定します。
iw_SubIndex	K3	書き込むサブインデックス値に 24 を指定します。
iw_ISDUDataLen	K2	書き込む ISDU データの長さに 2 バイトを指定します。
iw_ISDUData	HF0F0	書き込む ISDU データの値に HF0F0 を指定します。

M80 を ON にすると、指定した ISDU(インデックス:12, サブインデックス:3)に「F0F0」を書き込みます。



次の条件のプログラム例を下記に示します。

ラベル名	設定値	内容
iw_CHNo	K1	対象の CH に CH1 を指定します。
iw_ValidConf	H1	デバイス検証設定に H1(互換性検証)を指定します。
iw_VendorID	H1234	ベンダ ID に H1234 を指定します
id_DeviceID	H56789A	デバイス ID に H56789A を指定します。
id_SerialNo	H0000, H0000, H0000, H0000, H0000, H0000, H0000, H0000	シリアルナンバーに H00000000, H00000000, H00000000, H00000000 を指定します。

M90 を ON にすると, 指定した設定値を CH1 のデバイス検証設定に反映します。

